

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-116763

(43) 公開日 平成11年(1999) 4月27日

(51) Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	F I
C 0 8 L 33/06		C 0 8 L 33/06
C 0 8 F 8/42		C 0 8 F 8/42
C 0 8 G 18/83		C 0 8 G 18/83
C 0 8 L 75/08		C 0 8 L 75/08
83/12		83/12
審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 15 頁) 最終頁に続く		
(21) 出願番号	特願平10-212093	(71) 出願人 000000941 鎭瀬化学工業株式会社 大阪府大阪市北区中之島3丁目2番4号
(22) 出願日	平成10年(1998) 7月28日	(72) 発明者 藤田 雅幸 兵庫県神戸市兵庫区吉田町1-2-80 鎭 瀬化学工業株式会社総合研究所神戸研究所 内
(31) 優先権主張番号	特願平9-201109	(72) 発明者 日下部 正人 兵庫県高砂市高砂町宮前町1-8 鎭瀬化 学工業株式会社高砂工業所内
(32) 優先日	平9(1997) 7月28日	(72) 発明者 中川 佳樹 兵庫県神戸市兵庫区吉田町1-2-80 鎭 瀬化学工業株式会社総合研究所神戸研究所 内
(33) 優先権主張国	日本 (J P)	

## (54) 【発明の名称】 硬化性組成物

## (57) 【要約】

【課題】 架橋性シリル基を有するポリエーテル系重合体の高伸び性を損なうことなく、ゲル分の高い耐熱性に優れた硬化物を与える、低粘度の硬化性組成物を提供する。

【解決手段】 (A) 架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体、(B) 架橋性シリル基を少なくとも1個有するポリエーテル系重合体、を必須成分とする硬化性組成物を用い、硬化させる。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】以下の二成分：(I)一般式(1)で示される架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体 $\ast$

$$-\text{[Si(R}^1\text{)(R}^2\text{)(Y)}_n\text{O)]}_m-\text{Si(R}^3\text{)(R}^4\text{)(Y)}_n\text{-(1)}$$

〔式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>は、いずれも炭素数1～20のアルキル基、炭素数6～20のアリール基、炭素数7～20のアラルキル基、または(R')<sub>3</sub>SiO-(R'は炭素数1～20の1価の炭化水素基であって、3個のR'は同一であつてもよく、異なつてもよい)で示されるトリオルゴシロキシ基を示し、R<sup>3</sup>またはR<sup>4</sup>が2個以上存在するとき、それらは同一であつてもよく、異なつてもよい。Yは水酸基または加水分解性基を示し、Yが2個以上存在するときそれらは同一であつてもよく、異なつてもよい。aは0、1、2、または3を、また、bは0、1、または2を示す。mは0～19の整数である。ただし、a+mb≧1であることを満足するものとする。〕

【請求項2】(I)成分のビニル系重合体のゲルパーミエーションクロマトグラフィーで測定した重量平均分子量と数平均分子量の比が1.8未満である請求項1記載の硬化性組成物。

【請求項3】(I)成分のビニル系重合体が(メタ)アクリル系重合体である請求項1～2のうちいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項4】(I)成分のビニル系重合体の製造法がリビングラジカル重合法であることを特徴とする請求項1～3のうちいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項5】(I)成分のビニル系重合体の製造法が原子移動ラジカル重合法であることを特徴とする請求項1～4のうちいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項6】(I)成分の一般式(1)で示される架橋性シリル基を分子鎖末端に少なくとも1個有する請求項1～5のうちいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項7】(I)成分の一般式(1)で示される架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体が以下の工程：

(1)有機ハロゲン化合物、またはハロゲン化スルホニル化合物を開始剤、遷移金属錯体を触媒としてビニル系モノマーをラジカル重合することによりハロゲンを末端に有するビニル系重合体を製造し、(2)アルケニル基を有するオキシアンモニウムを反応させてハロゲンを置換することにより、末端にアルケニル基を有するビニル系重合体を製造し、(3)一般式(1)で示す架橋性シリル基を有するヒドロシラン化合物を反応させる；により得られる重合体である。請求項1～6のうちいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項8】(I)成分の一般式(1)で示される架橋性シリル基を有するビニル系重合体が以下の工程：

(1)ビニル系モノマーをリビングラジカル重合法により重合することにより、ビニル系重合体を製造し、

\* 合体、(II)一般式(1)で示される架橋性シリル基を少なくとも1個有するポリエーテル系重合体、を必須成分とする硬化性組成物。

※(2)続いて重合性の低いアルケニル基を少なくとも2個有する化合物を反応させることにより末端にアルケニル基を有するビニル系重合体を製造し、末端アルケニル基を一般式1で示す架橋性シリル基を有するヒドロシラン化合物を反応させることによりシリル基含有置換基に変換する；により得られる重合体である。請求項1～6のうちいずれか1項に記載の硬化性組成物。

【請求項9】(II)成分のポリエーテル系重合体が本質的にポリプロピレンオキシドである請求項1～8のうちいずれか1項記載の硬化性組成物。

【請求項10】請求項1～9のうちいずれか1項に記載の硬化性組成物を用いたシーリング材。

【請求項11】請求項1～10のうちいずれか1項に記載の硬化性組成物を用いた粘着剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体により改質された硬化性組成物に関する。さらに詳しくは、架橋性シリル基を少なくとも1個有するポリエーテル系重合体にブレンドすることにより、硬化後の高伸びおよび耐熱性などに優れた硬化性組成物に関する。

【0002】

【従来の技術】架橋性シリル基を少なくとも1個有するポリエーテル系重合体は、例えば特公昭45-36319号、同46-12154号、同46-30741号、同49-32673号、特開昭50-156599号、同51-73561号、同54-6096号、同55-13767号、同55-13768号、同55-82123号、同55-123620号、同55-125121号、同55-131021号、同55-131022号、同55-135135号、同55-137129号、特開平3-72572号、同3-97825号の各公報などに開示されており、硬化させると高伸びの硬化物が得られ、主に建築用の弾性シーリング材等に使用されている。しかし、これらポリエーテル、特にポリプロピレンオキシドを主鎖とするポリエーテルは、老化防止剤を使用しないと3級炭素に結合した水素原子が酸化されやすく、耐熱性が悪くなるという問題がある。この問題を解決するために既に本発明者らは、特公平4-42367号、同2-44845号において、架橋性シリル基を少なくとも1個有するポリエーテル系重合体に、架橋性シリル基を少なくとも1個有するアクリル系重合体をブレンドすることによって耐熱性が改善された硬化性組成物を提案した。また、特公平4-69667号は、分子両末端にアルコキシシリル基を有するアクリル

ポリマーと、分子両末端にアルコキシシリル基を有するポリエーテルポリマーのブレンドによるシーリング材組成物が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】架橋性シリル基を少なくとも1個有するポリエーテル系重合体とブレンドする架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体は、通常架橋性シリル基を有するラジカル重合開始剤、あるいは連鎖移動剤を用いて製造される。このため両末端に架橋性シリル基を高い比率で導入することは難しく、硬化物のゲル分は低くなってしまいう問題があった。一方で十分な硬化物のゲル分を得るためには架橋性シリル基を有するモノマーの併用が必要になるが、この場合ポリエーテル系重合体が本来有している高伸び特性が損なわれてしまうという問題があった。この場合は特に破断時の伸びが低くなるために該組成物の用途は大幅に限定される。従ってシーリング材としての使用では、耐候性の向上のためにはモジュラス上昇、伸びの低下、残留タックの悪化、ゲル分の低下など何らかの物性を犠牲にせざるを得なかった。また、ここで用いられる(メタ)\*20



〔式中、 $\text{R}^1$ 、 $\text{R}^2$ は、いずれも炭素数1~20のアルキル基、炭素数6~20のアリール基、炭素数7~20のアラルキル基、または $(\text{R}')_3\text{SiO}-$ ( $\text{R}'$ は炭素数1~20の1価の炭化水素基であって、3個の $\text{R}'$ は同一であってもよく、異なってもよい)で示されるトリオルガノシリル基を示し、 $\text{R}^1$ または $\text{R}^2$ が2個以上存在するとき、それらは同一であってもよく、異なってもよい。Yは水酸基または加水分解性基を示し、Yが2個以上存在するときそれは同一であってもよく、異なってもよい。aは0、1、2、または3を、また、bは0、1、または2を示す。mは0~19の整数である。ただし、 $a+m+b \geq 1$ であることを満足するものとする。〕

上記Yで示される加水分解性基としては特に限定されず、従来公知のものを用いることができ、具体的には、水素、ハロゲン原子、アルコキシ基、アシルオキシ基、ケト基、アミノ基、アミド基、アミノオキシ基、メルカプト基、アルケニルオキシ基等が挙げられ、加水分解性がマイルドで取り扱いやすいという点から、アルコキシ基が特に好ましい。該加水分解性基や水酸基は1個のケイ素原子に1~3個の範囲で結合することができ、 $a+m+b$ 、すなわち、加水分解性基の総和は1~5の範囲が好ましい。加水分解性基や水酸基が架橋性ケイ素基中に2個以上結合するときは、それらは同一であっても、異なってもよい。架橋性ケイ素化合物を構成するケイ素原子は1個でもよく、2個以上であってもよいが、シロキサン結合により連結されたケイ素原子の場合は20個程度であってもよい。

【0007】一般式(1)の架橋性シリル基を少なくとも※50

\*アクリル系重合体はフリーラジカル重合によって合成されているため、分子量分布が広く高粘度であり、ポリエーテル系重合体との混合物もまた高粘度になってしまうという問題もあった。

【0004】本発明においては、低粘度でかつ高い比率で架橋性シリル基が導入されたビニル系重合体を用いることによって、架橋性シリル基を有するポリエーテル系重合体の本来の高伸び性を損なうことなく、ゲル分の高い、耐候性に優れた硬化性組成物を提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体と架橋性シリル基を少なくとも1個有するポリエーテル系重合体を必須成分とする硬化性組成物を用いることにより、上記課題が解決されることを見出し、本発明に到達した。

【0006】

【発明の実施の形態】本発明において使用される(1)成分のビニル系重合体は、下記一般式(1)で示される架橋性シリル基を少なくとも1個有する。

※も1個有するビニル系重合体の主鎖を構成するモノマーとしては特に制約はなく、各種のものを用いることができる。本発明のビニル系重合体の主鎖の製造に用いられるビニル系モノマーとしては特に限定されず、各種のものを用いることができる。例示するならば、(メタ)アクリル酸、(メタ)アクリル酸メチル、(メタ)アクリル酸エチル、(メタ)アクリル酸-n-プロピル、(メタ)アクリル酸イソプロピル、(メタ)アクリル酸-n-n-ブチル、(メタ)アクリル酸イソブチル、(メタ)アクリル酸-n-ヘキシル、(メタ)アクリル酸シクロヘキシル、(メタ)アクリル酸-n-ヘプチル、(メタ)アクリル酸-n-オクチル、(メタ)アクリル酸-2-エチルヘキシル、(メタ)アクリル酸-2-メトキシエチル、(メタ)アクリル酸-3-メトキシプロピル、(メタ)アクリル酸-2-ヒドロキシエチル、(メタ)アクリル酸-2-ヒドロキシプロピル、(メタ)アクリル酸ステアрил、(メタ)アクリル酸ジシジル、(メタ)アクリル酸-2-アミノエチル、 $\gamma$ -(メタクリロイルオキシプロピル)トリメトキシシラン、(メタ)アクリル酸のエチレンオキシド付加物、(メタ)アクリル酸トリフルオロメチルメチル、(メタ)アクリル酸-2-トリフルオロメチルエチル、(メタ)アクリル酸-2-パーフルオロエチルエチル、(メタ)アクリル酸-2-パーフルオロエチル-2-パーフルオロブチルエチル、(メタ)

5

アクリル酸 2-パーフルオロエチル、(メタ)アクリル酸 パーフルオロメチル、(メタ)アクリル酸ジパーフルオロメチルメチル、(メタ)アクリル酸 2-パーフルオロメチル-2-パーフルオロエチルメチル、(メタ)アクリル酸 2-パーフルオロヘキシルエチル、(メタ)アクリル酸 2-パーフルオロデシルエチル、(メタ)アクリル酸 2-パーフルオロヘキサデシルエチル等の(メタ)アクリル酸系モノマー；スチレン、ビニルトリエン、 $\alpha$ -メチルスチレン、クロルスチレン、スチレンスルホン酸及びその塩等のスチレン系モノマー；パーフルオロエチレン、パーフルオロプロピレン、フッ化ビニリデン等のフッ素含有ビニルモノマー；ビニルトリメトキシシラン、ビニルトリエトキシシラン等のケイ素含有ビニル系モノマー；無水マレイン酸、マレイン酸、マレイン酸のモノアルキルエステル及びジアルキルエステル；フマル酸、フマル酸のモノアルキルエステル及びジアルキルエステル；マレイミド、メチルマレイミド、エチルマレイミド、プロピルマレイミド、ブチルマレイミド、ヘキシルマレイミド、オクチルマレイミド、ドデシルマレイミド、ステアールマレイミド、フェニルマレイミド、シクロヘキシルマレイミド等のマレイミド系モノマー；アクリロニトリル、メタクリロニトリル等のニトリル基含有ビニル系モノマー；アクリルアミド、メタクリルアミド等のアミド基含有ビニル系モノマー；酢酸ビニル、プロピオン酸ビニル、ヒバリ酸ビニル、安息香酸ビニル、桂皮酸ビニル等のビニルエステル類；エチレン、プロピレン等のアルケン類；ブタジエン、イソプレン等の共役ジエン類；塩化ビニル、塩化ビニリデン、塩化アリル、アリルアルコール等が挙げられる。これらは、単独で用いても良いし、複数を共重合させても構わ

ない。なお上記表現形式で例えば(メタ)アクリル酸とは、アクリル酸および/あるいはメタクリル酸を表す。  
【0008】一般式(1)の架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体で、上記のモノマーの中で(メタ)アクリル酸系モノマーを上記の重量%以上用いて合成することにより得られた(メタ)アクリル系重合体が、物性面からより好ましい。架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体の分子数については特に制限はないが、500~10000の範囲にあるのが好ましい。分子量が500以下であると、ビニル系重合体の本来の特性が発現されにくく、また、10000以上であると、取り扱いが困難になる。

【0009】架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体の分子量分布、すなわちポリマーエシェンクロマトグラフィーで測定した重量平均分子量( $M_w$ )と数平均分子量( $M_n$ )の比( $M_w/M_n$ )については特に制限はない。しかし、硬化性組成物とした際の粘度を低く抑えて取扱いを容易にし、なおかつ十分な硬化物特性を得るためには、分子量分布が狭いのが好ましい。分子量分布の値としては1.8未満が好ましく、よ

6

り好ましくは1.7以下、さらに好ましくは1.6以下、さらに好ましくは1.5以下、さらに好ましくは1.4以下、さらに好ましくは1.3以下である。

【0010】架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体は、種々の重合法により得ることができ、その方法は特に限定されない。しかし、モノマーの汎用性、制御の容易性の点からラジカル重合法によって、直接架橋性シリル基を導入したり、1段階あるいは数段階の反応で架橋性シリル基に変換される特定の官能基を有するビニル系重合体を得、この特定の官能基を架橋性シリル基に変換することにより架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体を得る方法がより好ましい。

【0011】架橋性シリル基を含む特定の官能基を有するビニル系重合体を合成する方法において用いられるラジカル重合法は、重合開始剤としてアゾ系化合物、過酸化剤などを用いて、特定の官能基を有するモノマーとビニル系モノマーとを単に共重合させる「一般的なラジカル重合法」と増端などの制御された位置に特定の官能基を導入することが可能な「制御ラジカル重合法」に分類

できる。  
【0012】「一般的なラジカル重合法」は、簡便な方法であり本発明でも使用可能である。しかしこの方法では、特定の官能基を有するモノマーは確率的にしか重合体中へ導入されないの、官能化率の高い重合体を得ようとした場合には、このモノマーをかなり大量に使う必要があり、逆に少量使用ではこの特定の官能基が導入されない重合体の割合が大きくなるという問題点がある。またフリーラジカル重合であるため、分子量分布が広く粘度の高い重合体しか得られないという問題点もある。

【0013】「制御ラジカル重合」は、更に、特定の官能基を有する連鎖移動剤を用いて重合をおこなうことにより末端に官能基を有するビニル系重合体を得られる「連鎖移動剤法」と重合生長末端が停止反応などを起こさずに生長することによりほぼ設計どおりの分子量の重合体を得られる「リビングラジカル重合法」とに分類することができる。「連鎖移動剤法」は、官能化率の高い重合体を得ることが可能であり、本発明でも使用可能であるが、開始剤に対してかなり大量の特定の官能基を有する連鎖移動剤が必要であり、処理も含めて経済面で問題がある。また上記の「一般的なラジカル重合法」と同様、フリーラジカル重合であるため分子量分布が広く、粘度の高い重合体しか得られないという問題点もある。

【0014】これらの重合法とは異なる、「リビングラジカル重合法」は、重合速度が高く、ラジカル同士のカップリングなどによる停止反応が起こりやすい制御の難しいとされるラジカル重合でありながら、停止反応が起こりにくく、分子量分布の狭い重合体( $M_w/M_n$ が1.1~1.5程度)が得られるとともに、モノマーと開始剤の仕込み比によって分子量は自由にコントロー

ることができる。

【0015】従って「リビングラジカル重合法」は、分子量分布が狭く、粘度が低い重合体を得ることができる上に、特定の官能基を有するモノマーを重合体のほぼ任意の位置に導入することができるため、上記特定の官能基を有するビニル系重合体の製造方法としてはより好ましいものである。なお、リビング重合とは狭義においては、末端が常に活性を持ち続けて分子鎖が生長していく重合のことをいうが、一般には、末端が不活性化されたものと活性化されたものが平衡状態にありながら生長していく擬リビング重合も含まれる。本発明における定義も後者である。

【0016】「リビングラジカル重合法」は近年様々なグループで積極的な研究がなされている。その例として、たとえばジャーナル・オブ・アメリカン・ケミカルソサエティ (J. Am. Chem. Soc.), 1994年、116巻、7943頁に示されるようなコバルトポリリン錯体を用いるもの、マクロモレキュールズ (Macromolecules), 1994年、27巻、7228頁に示されるようなニロキシド化合物などのラジカル捕捉剤を用いるもの、有機ハロゲン化合物等を開始剤とし遷移金属錯体を触媒とする「原子移動ラジカル重合」(Atom Transfer Radical Polymerization: ATRP) などがあげられる。

【0017】「リビングラジカル重合法」の中でも、有機ハロゲン化合物、またはハロゲン化スルホニル化合物を開始剤、遷移金属錯体を触媒としてビニル系モノマーを重合する「原子移動ラジカル重合法」は、上記の「リビングラジカル重合法」の特徴に加えて、官能基変換反応に比較的好利なハロゲン等を末端に有し、開始剤や触媒の設計の自由度が大きいことから、特定の官能基を有するビニル系重合体の製造方法としてはさらに好ましい。この原子移動ラジカル重合法としては例えば Matyjaszewski, ジャーナル・オブ・アメリカン・ケミカルソサエティ (J. Am. Chem. Soc.) 1995年、117巻、5614頁、マクロモレキュールズ (Macromolecules) 1995年、28巻、7901頁、サイエンス (Science) 1996年、272巻、866頁、WO96/30421号公報、WO97/18247号公報あるいは Sawamoto, マクロモレキュールズ (Macromolecules) 1995年、28巻、1721頁などが挙げられる。

【0018】この原子移動ラジカル重合では、有機ハロゲン化合物、特に反応性の高い炭素-ハロゲン結合を有する有機ハロゲン化合物 (例えば、 $\alpha$ 位にハロゲンを有するカルボニル化合物や、ベンジル位にハロゲンを有する化合物)、あるいはハロゲン化スルホニル化合物が開始剤として用いられる。上記原子移動ラジカル重合の触媒と

して用いられる遷移金属錯体としては、周期表第7族、8族、9族、10族、11族元素を中心金属とする錯体を用いることができる。好ましいものとしては、0価の銅、1価の銅、2価のルテチウム、2価の鉄又は2価のニッケルの錯体が挙げられる。なかでも、銅の錯体が好ましい。1価の銅化合物を具体的に例示するならば、塩化第一銅、臭化第一銅、ヨウ化第一銅、シアン化第一銅、酸化第一銅、過塩素酸第一銅等である。銅化合物を用いる場合、触媒活性を高めるために、2'-ビビリル及びその誘導体、1,10-フェenantrolin及びその誘導体、テトラメチルエチレンジアミン、ペンタメチルジエチレントリアミン、ヘキサメチルトリス(2-アミノエチル)アミン等のホリアミン等の配位子が添加される。また、2価の塩化ルテチウムのトリストリフェニルホスフィン錯体 ( $\text{RuCl}_2(\text{PPh}_3)_3$ ) も触媒として好適である。ルテチウム化合物を触媒として用いる場合は、活性化剤としてアルミニウムアルコキシド類が添加される。更に、2価の鉄のビストリフェニルホスフィン錯体 ( $\text{FeCl}_2(\text{PPh}_3)_2$ )、2価のニッケルのビストリフェニルホスフィン錯体 ( $\text{NiCl}_2(\text{PPh}_3)_2$ )、及び、2価のニッケルのビストリブチルホスフィン錯体 ( $\text{NiBr}_2(\text{PBu}_3)_2$ ) も、触媒として好適である。

【0019】この重合において用いられるビニル系のモノマーとしては特に制限はなく、既に例示したものをすべて好適に用いることができる。上記重合反応は、無溶剤又は各種の溶剤中で行うことができる。溶剤としては、例えば、ベンゼン、トルエン等の炭化水素系溶媒；ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等のエーテル系溶媒；塩化メチレン、クロロホルム等のハロゲン化炭化水素系溶媒；アセトン、メチルエチルケトン、メチルイソブチルケトン等のケトン系溶媒；メタノール、エタノール、プロパノール、イソプロパノール、n-ブチルアルコール、tert-ブチルアルコール等のアルコール系溶媒；アセトニトリル、プロピオニトリル、ベンズニトリル等のニトリル系溶媒；酢酸エチル、酢酸ブチル等のエステル系溶媒；エチレンカーボネート、プロピレンカーボネート等のカーボネート系溶媒等が挙げられる。これらは、単独又は2種以上を混合して用いることができる。また、上記重合は、0〜200℃の範囲で行うことができ、好ましくは、室温〜150℃の範囲である。

【0020】一般式(1)で示される架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体は、以下に例示する方法を利用して得ることが可能であるがこれらに限定されるわけではない。架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体の合成方法としては、(A) アルケニル基を少なくとも1個有するビニル系重合体に架橋性シリル基を有するヒドロシラン化合物を、ヒドロシリル化触媒存在下に付加させる方法 (B) 水酸基を少なくとも1個有するビニル系重合体に一分子中に架橋性シリ

ル基とイソシアネート基のような水酸基と反応し得る基を有する化合物を反応させる方法(C)ラジカル重合によりビニル系重合体を合成する際に、1分子中に重合性のアルケニル基と架橋性シリル基を併せ持つ化合物を反応させる方法(D)ラジカル重合によりビニル系重合体を合成する際に、架橋性シリル基を有する連鎖移動剤を用いる方法(E)反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体に1分子中に架橋性シリル基と安定なカルバニオンを有する化合物を反応させる方法;などがあげられる。

\*10



(式中、R<sup>2</sup>は水素またはメチル基を示し、R<sup>4</sup>は-C(O)O-、または-o-, m-, p-フェニレン基を示し、R<sup>5</sup>は直接結合、または炭素数1~20の2価の有機基を示し、1個以上のエーテル結合を含んでいてもよい。R<sup>6</sup>は水素、または炭素数1~10のアルキル基、炭素数6~10のアリール基または炭素数7~10のアラルキル基を示す)

なお、1分子中に重合性のアルケニル基と重合性の低いアルケニル基を併せ持つ化合物を反応させる時期に制限はないが、特にリングラジカル重合で、ゴムの性質を期待する場合には重合反応の終期あるいは所定のモノマーの反応終了後に、第2のモノマーとして反応させるのが好ましい。

【0022】(A-b)リビングラジカル重合によりビニル系重合体を合成する際に、重合反応の終期あるいは所定のモノマーの反応終了後に、例えば1, 5-ヘキサジエン、1, 7-オクタジエン、1, 9-デカジエンなどのような重合性の低いアルケニル基を少なくとも2個有する化合物を反応させる方法。

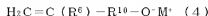
(A-c)反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体に、例えばアリルトリブチル鉛、アリルトリオクチル鉛などの有機鉛のようなアルケニル基を有する各種の有機金属化合物を反応させてハロゲンを置換する方法。

【0023】(A-d)反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体に、一般式(3)に挙げられるようなアルケニル基を有する安定なカルバニオンを反応させてハロゲンを置換する方法。

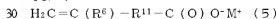
$\text{M}^+-\text{C}(\text{R}^7)(\text{R}^8)-\text{R}^9-\text{C}(\text{R}^5)=\text{CH}_2 \quad (3)$   
(式中、R<sup>5</sup>は上記に同じ、R<sup>7</sup>、R<sup>8</sup>はともにカルバニオンCを安定化する電子吸引基であるか、または一方が前記電子吸引基で他方が水素または炭素数1~10のアルキル基、またはフェニル基を示す。R<sup>9</sup>は直接結合、または炭素数1~10の2価の有機基を示し、1個以上のエーテル結合を含んでいてもよい。M<sup>+</sup>はアルカリ金属イオン、または4級アンモニウムイオンを示す) R<sup>7</sup>、R<sup>8</sup>の電子吸引基としては、-CO<sub>2</sub>R、-C(O)Rおよび-CNの構造を有するものが特に好ましい。

※【0024】(A-e)反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体に、例えば亜鉛のような金属単体あるいは有機金属化合物を用いてエノレートアニオンを調整し、しかる後にハロゲンやアセチル基のような脱離基を有するアルケニル基含有化合物、アルケニル基を有するカルボニル化合物、アルケニル基を有するイソシアネート化合物、アルケニル基を有する酸ハロゲン化合物等の、アルケニル基を有する求電子化合物と反応させる方法。

【0025】(A-f)反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体に、例えば一般式(4)あるいは(5)に示されるようなアルケニル基を有するオキシアニオンあるいはカルボキシレートアニオンを反応させてハロゲンを置換する方法。



(式中、R<sup>6</sup>、M<sup>+</sup>は上記に同じ、R<sup>10</sup>は炭素数1~20の2価の有機基で1個以上のエーテル結合を含んでいてもよい)



(式中、R<sup>6</sup>、M<sup>+</sup>は上記に同じ、R<sup>11</sup>は直接結合、または炭素数1~20の2価の有機基で1個以上のエーテル結合を含んでいてもよい) などが挙げられる。

【0026】上述の反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体の合成法は例として、(E-a)ラジカル重合において特開平4-132706に示されるような、例えば四塩化炭素、塩化エチレン、四臭化炭素、臭化メチレンのようなハロゲン化合物を連鎖移動剤に用いる方法(連鎖移動剤法)。

※【0027】(E-b)前述のような有機ハロゲン化合物等を開始剤とし、遷移金属錯体を触媒とする原子移動ラジカル重合法;などが挙げられるがこれらに限定されるわけではない。またアルケニル基を少なくとも1個有するビニル系重合体は、水酸基を少なくとも1個有するビニル系重合体から得ることも可能であり、以下に例示する方法が利用できるがこれらに限定されるわけではない。水酸基を少なくとも1個有するビニル系重合体の水酸基に、

(A-g)ナトリウムメトキシのような塩基を用いて、塩化アルのようなアルケニル基含有ハロゲン化

※50

と反応させる方法。

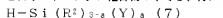
【0028】(A-h) アリルイソシアネート等のアルケニル基含有イソシアネート化合物を反応させる方法。  
(A-i) (メタ) アクリル酸クロリドのようなアルケニル基含有酸ハロゲン化合物をヒリジン等の塩基存在下に反応させる方法。

(A-j) アクリル酸等のアルケニル基含有カルボン酸を酸触媒の存在下に反応させる方法；等が挙げられる。

【0029】本発明では(A-a) (A-b) のようなアルケニル基を導入する方法にハロゲンが直接関与しない場合には、リビングラジカル重合法を用いてビニル系重合体を合成することが好ましい。制御がより容易である点から(A-b)の方法がさらに好ましい。反応性の\*



(式中、 $\text{R}^1$ 、 $\text{R}^2$ 、a、b、m、Yは前記に同じ。) これらヒドロシラン化合物の中でも、特に一般式(7)

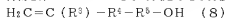


(式中、 $\text{R}^2$ 、Y、aは前記に同じ)で示される架橋性基を有する化合物が入手容易な点から好ましい。

【0031】上記の架橋性シリル基を有するヒドロシラン化合物をアルケニル基に付加させる際には、遷移金属触媒が通常用いられる。遷移金属触媒としては、例えば、白金単体、アルミナ、シリカ、カーボンブラック等の担体に白金固体を分散させたもの、塩化白金酸、塩化白金酸とアルコール、アルデヒド、ケトン等との錯体、白金-オレフィン錯体、白金(0)-ジビニルテトラメチルジシロキサン錯体が挙げられる。白金化合物以外の触媒の例としては、 $\text{RhCl}(\text{PPh}_3)_3$ 、 $\text{RhCl}(\text{I}_3)_3$ 、 $\text{RuCl}_3$ 、 $\text{IrCl}_3$ 、 $\text{FeCl}_3$ 、 $\text{AlCl}_3$ 、 $\text{PdCl}_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$ 、 $\text{NiCl}_2$ 、 $\text{TiCl}_4$ 等が挙げられる。

【0032】(B) および(A-g) ~ (A-j)の方法で用いる水酸基を少なくとも1個有するビニル系重合体の製造方法は以下のような方法が例示されるが、これらの方法に限定されるものではない。

(B-a) ラジカル重合によりビニル系重合体を合成する際に、例えば下記一般式(8)に挙げられるような一分子中に重合性のアルケニル基と水酸基を併せ持つ化合物を第2のモノマーとして反応させる方法。



(式中、 $\text{R}^3$ 、 $\text{R}^4$ 、 $\text{R}^5$ は上記に同じ)

なお、一分子中に重合性のアルケニル基と水酸基を併せ持つ化合物を反応させる時期に制限はないが、特にリビングラジカル重合で、ゴムの性質を期待する場合には重合反応の終期あるいは所定のモノマーの反応終了後に、第2のモノマーとして反応させるのが好ましい。

【0033】(B-b) リビングラジカル重合によりビニル系重合体を合成する際に、重合反応の終期あるいは所定のモノマーの反応終了後に、例えば10-ウンデセノール、5-ヘキセノール、アリルアルコールのような\*

\*高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体のハロゲンを変換することによりアルケニル基を導入する場合は、反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有する有機ハロゲン化合物、またはハロゲン化スルホニル化合物を開始剤、遷移金属錯体を触媒としてビニル系モノマーをラジカル重合すること(原子移動ラジカル重合法)により得る。末端に反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体を用いるのが好ましい。制御がより容易である点から(A-f)の方法がさらに好ましい。

【0030】また、架橋性シリル基を有するヒドロシラン化合物としては特に制限はないが、代表的なものを示すと、一般式(6)で示される化合物が例示される。

\*アルケニルアルコールを反応させる方法。

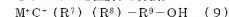
(B-c) 例えば特開平5-262808に示される水酸基含有ポリスルフィドのような水酸基含有連鎖移動剤を多量に用いてビニル系モノマーをラジカル重合させる方法。

(B-d) 例えば特開平6-239912、特開平8-283310に示されるような過酸化水素あるいは水酸基含有開始剤を用いてビニル系モノマーをラジカル重合させる方法。

(B-e) 例えば特開平6-116312に示されるようなアルコール類を過剰に用いてビニル系モノマーをラジカル重合させる方法。

(B-f) 例えば特開平4-132706などに示されるような方法で、反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個に有するビニル系重合体のハロゲンを加水分解あるいは水酸基含有化合物と反応させることにより、末端に水酸基を導入する方法。

(B-g) 反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体に、一般式(9)に挙げられるような水酸基を有する安定化カルバニオンを反応させてハロゲンを置換する方法。



(式中、 $\text{R}^7$ 、 $\text{R}^8$ 、 $\text{R}^9$ は上記に同じ)

$\text{R}^7$ 、 $\text{R}^8$ の電子吸引基としては、 $-\text{CO}_2\text{R}$ 、 $-\text{C}$

(O) R および  $-\text{CN}$  の構造を有するものが特に好ましい。

【0034】(B-h) 反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体に、例えば亜鉛のような金属単体あるいは有機金属化合物を作用させてエネレートアニオンを調製し、しる後にアルデヒド類、又はケトン類を反応させる方法。

(B-i) 反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体に、例えば一般式(10)あるいは(11)に示されるような水酸基を有するオキシアニオンあるいはカルボキシレートアニオンを反応させてハロゲンを置換する方法。

13

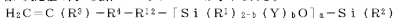


(式中、 $\text{R}^{10}$ および $\text{M}^*$ は前記に同じ)



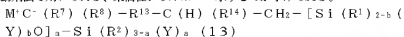
(式中、 $\text{R}^{11}$ および $\text{M}^*$ は前記に同じ)等が挙げられる。

【0035】本発明では(B-a)～(B-e)のような水酸基を導入する方法にハロゲンが直接関与しない場合には、リビングラジカル重合法を用いてビニル系重合体を合成することが好ましい。制御がより容易である点から(B-b)の方法がさらに好ましい。反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体のハロゲンを変換することにより水酸基を導入する場合は、有機ハロゲン化物、またはハロゲン化スルホニル化合物を開始剤、遷移金属錯体触媒としてビニル系モノマーをラジカル重合すること(原子移動ラジカル重合法)により得る、末端に反応性の高い炭素-ハロゲン\*



(式中、 $\text{R}^1$ 、 $\text{R}^2$ 、 $\text{R}^3$ 、 $\text{R}^4$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{a}$ 、 $\text{b}$ 、 $\text{m}$ は上記に同じ。 $\text{R}^{12}$ は、直接結合、または炭素数1～20の2価の有機基で1個以上のエーテル結合を含んでいてもよい。)

一分子中に重合性のアルケニル基と架橋性シリル基を併せ持つ化合物を反応させる時期に特に制限はないが、特にリビングラジカル重合で、ゴム的な性質を期待する場合には重合反応の終期あるいは所定のモノマーの反応終了後に、第2のモノマーとして反応させるのが好ましい。(D)の連鎖移動剤法で用いられる、架橋性シリル\*



(式中、 $\text{R}^1$ 、 $\text{R}^2$ 、 $\text{R}^7$ 、 $\text{R}^8$ 、 $\text{Y}$ 、 $\text{a}$ 、 $\text{b}$ 、 $\text{m}$ 、は前記に同じ。 $\text{R}^{13}$ は直接結合、または炭素数1～10の2価の有機基で1個以上のエーテル結合を含んでいてもよい。 $\text{R}^{14}$ は水素、または炭素数1～10のアルキル基、炭素数6～10のアリール基または炭素数7～10のアリール基を示す。)

$\text{R}^7$ 、 $\text{R}^8$ の電子吸引基としては、 $-\text{CO}_2\text{R}$ 、 $-\text{C}$

(O)Rおよび-CNの構造を有するものが特に好ましい。また、架橋性シリル基が少なくとも1個分子鎖の末★

14

\*結合を少なくとも1個有するビニル系重合体を用いるのが好ましい。制御がより容易である点から(B-i)の方法がさらに好ましい。

【0036】また、一分子中に架橋性シリル基とイソシアネート基のような水酸基と反応し得る基を有する化合物としては、例えばアーイソシアナートプロピルトリメトキシシラン、アーイソシアナートプロピルメチルジメトキシシラン、アーイソシアナートプロピルトリエトキシシラン等が挙げられ、必要により一般に知られているウレタン化反応の触媒を使用できる。

【0037】(C)の方法で用いる一分子中に重合性のアルケニル基と架橋性シリル基を併せ持つ化合物としては、例えばトリメトキシシリルプロピル(メタ)アクリレート、メチルジメトキシシリルプロピル(メタ)アクリレートなどのような、下記一般式(12)で示すものが挙げられる。

\*基を有する連鎖移動剤としては例えば特公平3-14068、特公平4-55444に示される、架橋性シリル基を有するメルカプタン、架橋性シリル基を有するヒドロシランなどが挙げられる。

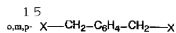
【0038】(E)の方法で用いられる、反応性の高い炭素-ハロゲン結合を少なくとも1個有するビニル系重合体は前述のとおり(E-a)～(E-b)の方法で得ることができる。一分子中に架橋性シリル基と安定化カルバニオンを併せ持つ化合物としては一般式(13)で示すものが挙げられる。

★端に有するビニル系重合体、有機ハロゲン化物、またはハロゲン化スルホニル化合物を開始剤、遷移金属錯体触媒として用いる重合法で得るためには、開始点となる反応性の高い炭素-ハロゲン結合を2個以上有する有機ハロゲン化物、またはハロゲン化スルホニル化合物を開始剤として用いるのが好ましい。それらの具体例としては、

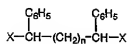
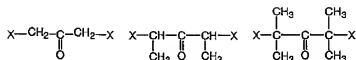
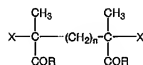
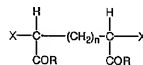
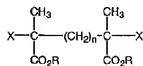
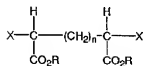
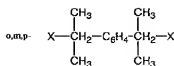
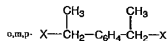
【0039】

【化1】





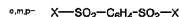
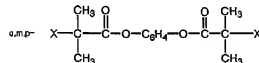
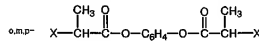
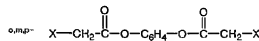
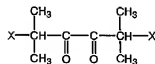
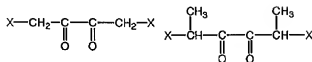
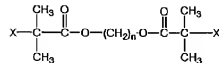
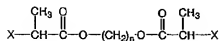
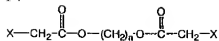
16



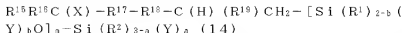
【0040】(式中、Rは炭素数1～20のアルキル基、炭素数6～20アリール基、または炭素数7～20  
 アラルキル基を表す。C<sub>6</sub>H<sub>5</sub>は、フェニレン基を表す。  
 nは0～20の整数を表す。Xは塩素、臭素、またはヨウ素を表す。)

【0041】

【化2】

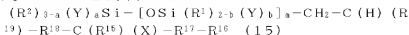


【0042】(式中、Xは塩素、臭素またはヨウ素を表す。nは0～20の整数を表す。C<sub>6</sub>H<sub>4</sub>は、フェニレン基を表す。)等があげられる。架橋性シリル基を少なくとも1個分子鎖の末端に有するビニル系重合体は上記のほかにも、得ることができる。架橋性シリル基を有する有機ハロゲン化物を開始剤として用いれば、片末端に架橋性シリル基を有し、他の末端が一般式2の構造を有するビニル系重合体を得られる。このようにして得られる\*40



(式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、a、b、m、X、Yは上記に同じ。

R<sup>15</sup>、R<sup>16</sup>は、独立して水素、または炭素数1～20のアルキル基、炭素数6～20のアリール基、または炭素数7～20のアルキル基、または他端において相互に連結したもので、R<sup>17</sup>は-C(O)-O-、-C(O)-、または、o-、m-、p-フェニレン基を示す。R<sup>18</sup>は※



\*重合体の停止末端のハロゲンに架橋性シリル基含有置換基に変換すれば、両末端に架橋性シリル基を有するビニル系重合体を得ることができる。その変換方法としては、既に記載した方法を使用することができる。

【0043】架橋性シリル基を有する有機ハロゲン化物としては特に制限はないが、例えば一般式(14)、

(15)に示す構造を有するものが例示される。

※直接結合、または炭素数1～10の2個の有機基で1個以上のエーテル結合を含んでいてもよい、R<sup>19</sup>は水素、または炭素数1～10のアルキル基、炭素数6～10のアリール基または炭素数7～10のアルキル基を示す。)

(式中、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 、 $a$ 、 $b$ 、 $m$ 、 $X$ 、 $Y$ は上記に同じ)

架橋性シリル基を有する有機ハロゲン化合物を開始剤として用いると、片末端が架橋性シリル基、他の末端がハロゲンである重合体を得られるが、この重合体のハロゲンを置換できる、同一または異なる官能基を合計2個以上有する化合物を用いて、ハロゲン末端どうしをカップリングさせることによって、両末端に架橋性シリル基を有するビニル系重合体を得ることができる。

【0044】末端ハロゲンを置換できる、同一または異なる官能基を合計2個以上有する化合物としては特に制限はないが、ポリオール、ポリアミン、ポリカルボン酸、ポリチオール、およびそれらの塩、アルカリ金属硫化物等が好ましい。アルケニル基を有する有機ハロゲン化合物を開始剤に用いば、片末端にアルケニル基を有し、他の末端がハロゲンである重合体を得られる。このようにして得られる重合体の末端のハロゲンをアルケニル含有置換基に変換すれば、両末端にアルケニル基を有するビニル系重合体を得ることができ、このアルケニル基を上述の方法などで架橋性シリル基に変換すれば、両末端に架橋性シリル基を有するビニル系重合体を得ることができる。

【0045】ゴムの性質が要求される用途においては、ゴム弾性に大きな影響を与える架橋点間分子量が大きくとれるため、架橋性シリル基の少なくとも1個は分子鎖の末端にあることが好ましく、全て分子鎖末端にあるのがさらに好ましい。従って、架橋性シリル基の少なくとも1個有するビニル系重合体を合成する際に用いる、水酸基、ハロゲンあるいはアルケニル基を少なくとも1個有するビニル系重合体は、これらの官能基が分子鎖の末端に存在するものであることが好ましい。

【0046】架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体、中でも(メタ)アクリル系重合体を製造する方法は、例えば特公平3-14068、特公平4-5444、特開平6-211922などに開示されているが、これらの方法は「連鎖移動剤法」を用いているので、これらの架橋性シリル基は比較的高い割合で末端に存在するが、得られる重合体の分子量分布が一般的には2以上と広く、粘度が高くなるという問題がある。従って分子量分布の狭い、粘度の低い、高い割合で末端に架橋性シリル基を有するビニル系重合体を得るにはリビングラジカル重合法を用いるのが好ましい。本発明における(Ⅰ)成分である架橋性シリル基を少なくとも1個有するポリエーテル系重合体は、主鎖中にウレタン結合を含んでいてもよく、含んでいなくてもよい。主鎖のポリエーテルは本質的にポリプロピレノキシドであることが好ましい。より低粘度であれど流動性が良好になるのでポリプロピレノキシド系重合体の分子量分布( $M_w/M_n$ )が1.5以下のものがより好ましい。架橋性シリル基は(Ⅰ)成分のビニル系重合体と同一であ

ってもよく、異なってもよい。(Ⅰ)成分のビニル系重合体と(Ⅰ)成分のポリエーテル系重合体の混合比は、重量比で100/1~1/100の範囲が好ましいが、100/5~5/100の範囲にあることがさらに好ましい。

【0047】本発明の硬化性組成物は十分な物性を有しながら低粘度化も可能なので、シーリング材、接着剤として用いるのがより好ましい。本発明の架橋性シリル基を少なくとも1個有するビニル系重合体あるいはポリエーテル系重合体を硬化させるにあたっては縮合触媒を使用してもなくてもよい。縮合触媒としてはテトラブチルチタネート、テトラプロピルチタネート等のチタン酸エステル；ジブチル錫ジラウレート、ジブチル錫ジアセチルアセトナート、ジブチル錫マレエート、ジブチル錫ジアセテート、ジブチル錫ジメトキシド、ジブチル錫オキシドとカルボン酸エステルあるいはカルボン酸あるいは水酸基含有化合物の反応物、オクチル酸錫、ナフチン酸錫等の有機錫化合物；アルミニウムトリスアセチルアセトナート、アルミニウムトリスエチルアセトナート、ジイソプロポキシアルミニウムエチルアセトナートなどの有機アルミニウム化合物；ジルコニウムテトラアセチルアセトナートジルコニウムテトライソプロポキシド、ジルコニウムテトラブチルアセトナートなどの有機ジルコニウム化合物；オクチル酸鉛などの有機鉛化合物；ブチルアミン、オクチルアミン、ジブチルアミン、モノエタノールアミン、ジエタノールアミン、トリエタノールアミン、ジエチレントリアミン、トリエチレントトラミン、オレイルアミン、オクチルアミン、シクロヘキシルアミン、ベンジルアミン、ジエチルアミノプロピルアミン、キシリレンジアミン、トリエチレンジアミン、グアニジン、ジフェニルグアニジン、2,4,6-トリリス(ジメチルアミノメチル)フェノール、モルホリン、N-メチルモルホリン、1,3-ジアザビシクロ(5,4,6)ウンデセン-7等のアミン系化合物あるいはそれらのカルボン酸塩；ラウリルアミンとオクチル酸錫の反応物あるいは混合物のようなアミン系化合物と有機錫化合物との反応物および混合物；過剰のポリアミンと多塩基酸から得られる低分子量ポリミド樹脂；過剰のポリアミンとエポキシ化合物の反応生成物；アミノ基を有するシランカップリング剤、例えば、γ-アミノプロピルトリエタノールシラン、N-(β-アミノエチル)アミノプロピルメチルジメトキシシラン等の公知のシランアルコール1種または2種以上を必要に応じて用いばよい。使用量には架橋性シリル基を少なくとも1個有する重合体の総量100重量部に対し、0~10重量部使用するのが好ましい。加水分解性基Yとしてアルコキシ基が使用される場合は、この重合体のみでは硬化速度が遅いので、硬化触媒を使用することが好ましい。

【0048】本発明の硬化性組成物の機械物性の調整を目的として充填材を添加できる。具体的には、フェーム

## 21

ドシリカ、沈降性シリカ、無水ケイ酸、含水ケイ酸およびカーボンブラックのような補強性充填材；炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、ケイソウ土、焼成クレー、クレー、タルク、酸化チタン、ペントナイト、有機ペントナイト、酸化第二鉄、酸化亜鉛、活性亜鉛華およびシラスパルーンなどのような充填材；石綿、ガラス繊維およびフィラメントのような繊維状充填材が使用できる。これら充填材で強度の高い硬化物を得たい場合には、主にヒュームドシリカ、沈降性シリカ、無水ケイ酸、含水ケイ酸、カーボンブラック、表面処理無機炭酸カルシウム、焼成クレー、クレーおよび活性亜鉛華などから選ばれ、充填材を架橋性シリル基を少なくとも1個有する重合体の総量100重量部に対して1〜200重量部の範囲で添加すれば好ましい結果が得られる。また、低強度で伸びが大である硬化物を得たい場合には、主に酸化チタン、炭酸カルシウム、タルク、酸化第二鉄、酸化亜鉛およびシラスパルーンなどから選ばれ、充填材を、架橋性シリル基を少なくとも1個有する重合体の総量100重量部に対して1〜200重量部の範囲で添加すれば好ましい結果が得られる。これら充填材は1種類で使

用してもよい、2種類以上混合使用してもよい。  
【0049】また物性および粘度の調整のために可塑剤を添加できる。具体的には、ジブチルフタレート、ジヘプチルフタレート、ジ(2-エチルヘキシル)フタレート、ジイソデシルフタレート、ブチルベンジルフタレート等のフタル酸エステル類；ジオクチルアジバート、ジオクチルセバケート等の非芳香族二基酸エステル類；ジエチレンジグリコールジベンゾエート、トリエチレンジグリコールジベンゾエート等のポリアルキレンジグリコールのエステル類；トリクレシルホスフェート、トリブチルホスフェート等のリン酸エステル類；ポリエリレンジグリコール、ポリプロピレンジグリコールあるいはこれらの水酸基を変換したポリエーテル類；塩化パラフィン類；アルキルジフェニル、部分水添ターフェニル等の炭化水素系油等が挙げられ、これらを単独、または2種以上混合して使用することができるが、必ずしも必要とするものではない。なおこれら可塑剤は、重合体製造時に配合することも可能である。可塑剤量は、架橋性シリル基を少なくとも1個有する重合体の総量100重量部に対して0〜100重量部の範囲で添加すれば好ましい結果が得られる。接着促進剤は、本発明による重合体自体がガラス、ガラス以外のセラミック類、金属等に対して接着性を有していたり、各種プライマーを使用することにより広範囲の材料に対して接着させることが可能であるので必ずしも必要ではないが、各種被着体に対する安定的な接着性を得るために用いるのが好ましい。

【0050】接着促進剤としては、フェノール、クレゾール、キシレノール、レゾルシノール、アルキルフェノール、変性フェノール（たとえば、カシューオイル変性フェノール、トルオール変性フェノールなど）などの

## 22

フェノール系化合物とホルマリン、パラホルムアルデヒドなどのアルデヒド系化合物との反応により得られるレゾール型またはノボラック型のフェノール樹脂；硫黄；ビスフェノールA型エポキシ樹脂、ビスフェノールD型エポキシ樹脂、ノボラック型エポキシ樹脂、ビスフェノールAプロピレンオキシド付加物のグリシジルエーテル型エポキシ樹脂、水添ビスフェノールA型エポキシ樹脂などのエポキシ樹脂；テトラブチルチタネートなどのアルキルチタネート、トリレンジジシチタネート、ジフェニルメタンジイソシアネートなどの芳香族ポリイソシアネート；アーマミノプロピルトリメトキシシラン、アーマミノプロピルトリエトキシシラン、アーマミノプロピルメチルジメトキシシラン、N-(β-アミノエチル)-アーマミノプロピルトリメトキシシラン、N-(β-アミノエチル)-アーマミノプロピルメチルジメトキシシランなどのような一分子中にアミノ基と架橋性シリル基を有する化合物；アグリシドキシプロピルトリメトキシシラン、アグリシドキシプロピルトリエトキシシラン、アグリシドキシプロピルメチルジメトキシシランなどのような一分子中にエポキシ基と架橋性シリル基を有する化合物；アーマルカプトプロピルトリメトキシシラン、アーマルカプトプロピルメチルジメトキシシランなどのような一分子中にメルカプト基と架橋性シリル基を有する化合物；アーマイソシアネートプロピルトリメトキシシラン、アーマイソシアネートプロピルトリエトキシシラン、アーマイソシアネートプロピルメチルジメトキシシランなどのような一分子中にイソシアネート基と架橋性シリル基を有する化合物；上記のような一分子中にアミノ基と架橋性シリル基を有する化合物と一分子中にエポキシ基と架橋性シリル基を有する化合物あるいは一分子中にイソシアネート基と架橋性シリル基を有する化合物の反応物；アーマ(メタ)アクリロキシプロピルトリメトキシシラン、アーマ(メタ)アクリロキシプロピルトリエトキシシラン、アーマ(メタ)アクリロキシプロピルメチルジメトキシシランなどのような一分子中に(メタ)アクリロキシ基と架橋性シリル基を有する化合物と上記のような一分子中にアミノ基と架橋性シリル基を有する化合物の反応物；などが挙げられる。これらは単独で使用しても2種類以上併用しても良い。なかでも物性および接着性の制御が比較的容易な一分子中にアミノ基と架橋性シリル基を有する化合物、一分子中にエポキシ基と架橋性シリル基を有する化合物、一分子中にメルカプト基と架橋性シリル基を有する化合物、一分子中にイソシアネート基と架橋性シリル基を有する化合物の反応物、一分子中に(メタ)アクリロキシ基と架橋性シリル基を有する化合物と一分子中にアミノ基と架橋性シリル基を有する化合物の反応物などのような一分子中に窒素、酸素、硫黄原子のうちの少な

くとも一つを有する有機基と架橋性シリル基を有する化合物が好ましい。接着性の高さから、上記の窒素、酸素、硫黄原子のうちの少なくとも一つを有する有機基が、アミノ基、イソシアネート基あるいはこれらが反応することにより生成する基である。一分子中に窒素原子を有する有機基と架橋性シリル基を有する化合物がさらに好ましい。

【0051】上記接着促進剤は、架橋性シリル基を少なくとも1個有する重合体の総量100重量部に對し、0.01から20重量部使用されるのが好ましい。0.01重量部では接着性の改善効果が現れにくく、20重量部越えと硬化物の物性に悪影響を与える。接着促進剤の添加量は、好ましくは0.1〜10重量部、さらに好ましくは0.5〜5重量部である。

【0052】硬化性組成物を硬化させた時の硬度を上げたり、硬度を下げて伸びを出したりして物性を制御するために、物性調整剤を用いることができる。物性調整剤としては例えば、メチルトリメトキシシラン、ジメチルジメトキシシラン、トリメチルジメトキシシラン、 $n$ -プロピルトリメトキシシランなどのアルキルアルコキシシラン類；ジメチルジイソプロパノキシシラン、メチルトリイソプロパノキシシラン、 $\gamma$ -グリシドキシプロピルメチルジイソプロパノキシシランなどのアルキルイソプロパノキシシラン類；ビニルトリメトキシシラン、ビニルメチルジメトキシシランなどの各種シランカップリング剤、シリコンワニス類；ポリシロキサン類等が必要に応じて添加される。架橋性シリル基を少なくとも1個有する重合体の総量100重量部に對し、0〜20重量部の範囲で添加すれば好ましい結果が得られる。

【0053】硬化性組成物の硬化速度を速めたり、遅らせたりするために硬化性調整剤を、また貯蔵中の増粘を抑えるために貯蔵安定性改良剤を添加することができる。硬化性調整剤あるいは貯蔵安定性改良剤としては、メタノール、エタノールなどのアルコール類；オルトギ酸メチルなどのオルトエステル類；テトラエトキシシラン、メチルトリメトキシシラン、ビニルトリメトキシシランなどの架橋性シリル基を有する化合物；2-エチルヘキサン酸などのカルボン酸類などが挙げられる。架橋性シリル基を少なくとも1個有する重合体の総量100重量部に對し、0〜20重量部の範囲で添加すれば好ましい結果が得られる。

【0054】本発明の硬化性組成物はその他に、トルエン、メチルエチルケトンなどの各種溶剤；各種シランカップリング剤、架橋性シリル基を有するポリシロキサンなどの各種変性剤；ポリアミドワックス、水添マシシロ、金属石鹸などのレオロジー特性調整剤；紫外線硬化性樹脂、酸素硬化性樹脂などの表面特性および/あるいは耐候性改良剤；顔料、染料などの着色剤；老化防止剤、紫外線吸収剤、光安定化剤、熱酸化剤などのような添加剤も任意に使用してもよい。

【0055】本発明の硬化性組成物は、すべての配合成分を予め配合密封保存し、施工後空気中の湿分を吸収することにより硬化する1成分型として調製することも可能であり、硬化剤として別途硬化触媒、充填材、可塑剤、水等の成分を配合しておき、該配合材と重合体組成物を使用前に混合する2成分型として調整することもできる。取り扱いが容易で、施工時のミスも少ない1成分型がより好ましい。以下に本発明を実施例に基づき説明するが、下記実施例に限定されるものではない。

#### （合成例1）

##### 末端にハロゲンを有するポリ（アクリル酸- $n$ -ブチル）の合成

50mlフラスコに臭化第一醇0.63g（4.4mmol）、ペンタメチルジエチレントリアミン0.76g（4.4mmol）、アセトニトリ5ml、2-5-ジブプロアジエン酸ジエチル1.6g（4.4mmol）、アクリル酸ブチル44.7g（349mmol）を仕込み、凍結脱気をおこなった後、窒素雰囲気下で70℃7時間反応させた。活性アルミニウムのカラムを通して銅触媒を除去精製することにより末端にBr基を有する重合体を得た。得られた重合体の数平均分子量はGPC測定（移動相クロロホルム、ボリスチレン換算）で10700、分子量分布1.15であった。

##### 末端にアルケニル基を有するポリ（アクリル酸- $n$ -ブチル）の合成

窒素雰囲気下、200mlフラスコに上記で得た末端にハロゲンを有するポリ（アクリル酸- $n$ -ブチル）35g、ペンテン酸カリウム2.2g（16.1mmol）、DMAc35mLを仕込み、70℃で4時間反応させた。反応混合液中の未反応のペンテン酸カリウムおよび生成した臭化カリウムを水抽出精製により除去し、末端にアルケニル基を有する重合体を得た。得られた重合体の数平均分子量はGPC測定（移動相クロロホルム、ボリスチレン換算）で11300、分子量分布1.12であった。また $^1\text{H-NMR}$ 分析より求めた重合体1分子あたりのアルケニル基の個数は1.82個であった。末端に架橋性シリル基を有するポリ（アクリル酸- $n$ -ブチル）の合成

200ml耐圧反応管に上記で得た末端にアルケニル基を有する重合体15g、メチルジメトキシシラン1.8mL（14.5mmol）オルトギ酸メチル0.26mL（2.4mmol）、白金ビス（ジビニルテトラメチルジシロキサン） $10^{-4}$ mmolを仕込み、100℃で4時間反応させ、末端に架橋性シリル基を有する重合体を得た。得られた重合体の粘度は4Pa・sであり、数平均分子量はGPC測定（移動相クロロホルム、ボリスチレン換算）で11900、分子量分布1.12であった。また $^1\text{H-NMR}$ 分析により重合体1分子あたりの架橋性ケイ素基の個数は1.46個であった。

#### （比較合成例1）

架橋性ケイ素基含有モノマーを用いた架橋性シリル基を有するポリ(アクリル酸-n-ブチル)の合成

トルエン400g、アクリル酸ブチル385g、メタクリル酸メチルジメトキシシリルプロピル15g、アゾビスイソブチロニトリル6gを1Lフラスコ中で窒素バブリングしながら105℃で7時間重合した。トルエンを留去することにより架橋性シリル基を有するポリ(アクリル酸-n-ブチル)が得られた。この重合体の粘度は74Pa・sであり、数平均分子量はGPC測定(移動相クロロホルム、ポリスチレン換算)により、8500、分子量分布は2.47であった。また<sup>1</sup>H-NMR分析より求めた重合体1分子あたりの平均の水酸基の個数は1.40個であった。

(参考合成例1)

水酸基末端ポリプロピレンオキサライドの合成

オートクレープにヘキサシアノバトリ酸亜鉛-グライム錯体0.04g、ジプロピレングリコール2.0gのTHF溶液、プロピレンオキサライド9.6gを添加し、窒素雰囲気下、76℃で反応させた。その後プロピレンオキサライド14.5.2gを反応系に追加した。未反応モノマーと溶媒を回収、精製し、油状物150gを得た。生成物はGPC分析で単一ピークを示し、分子量分布(Mw/Mn)は1.14であった。またその水酸基価は、11.8mgKOH/gであった。不飽和基末端ポリプロピレンオキサライドの合成

上記で得られた水酸基末端ポリプロピレンオキサライド120gにナトリウムメトキシドのメタノール溶液(28wt%)5.8g(30.2mmol)を加え、オートクレープ中で130℃で1時間反応させた後、減圧脱揮した。窒素雰囲気下に戻し、塩化アル2.8g(36.2mmol)を添加し、2時間反応させた。この反応混合物をヘキサンに溶解し、ケイ酸アルミニウムで吸着処理した後ヘキサンを減圧留去することにより不飽和基末端ポリプロピレンオキサライドを得た。

架橋性シリル基末端ポリプロピレンオキサライドの合成  
上記の合成で得られた不飽和基末端ポリプロピレンオキサライド120gを耐圧ガラス製反応容器に仕込み、塩化白金酸のイソプロパノール溶液(25gのH<sub>2</sub>PtCl<sub>6</sub>・6H<sub>2</sub>Oを500gのイソプロパノールに溶解したもの)0.02gを添加後、30分攪拌した。メチルジメ

トキシラン2.1g(20.2mmol)を滴下し90℃で2時間反応させた。減圧することにより揮発分を除去し、架橋性シリル基末端ポリプロピレンオキサライドを得た。この重合体の粘度は6Pa・sであり、数平均分子量はGPC測定(移動相クロロホルム、ポリスチレン換算)により、17300、分子量分布は1.14であった。

(実施例1、2) 合成例1の架橋性シリル基を有するビニル系重合体と参考合成例1の架橋性シリル基を有するポリエーテル系重合体を表1に示す割合で混合し、粘度を測定した。この混合物100重量部に対して、水1重量部、ジブチルスズジメトキシド1重量部を攪拌混合し、厚さ2mmの片俵に流し込んだ。減圧乾燥器を用いて室温で脱泡し、50℃で3日間硬化させることによりゴム状硬化物のシートを得た。トルエン抽出によりゲル分率を求めた。ゴム状硬化物シートから2(1/3)号形ダンベル試験片を打ち抜き、オートグラフを用いて引張り試験をおこない、50%伸長時応力(M50)、破断時強度(Tb)、破断時伸び(Eb)を測定した(200mm/min)。ゴム状硬化物シートから小片を切り抜き、サンシャイン・ウエザオ・メーターに入れた。60時間経過後の状態を観察した(促進耐候性)。結果を表1に示した。

(比較例1、2) 合成例1で得た重合体の代わりに、比較合成例1で得た重合体を用いた他は実施例1、2と同様にして、物性を測定した。結果を合わせて表1に示した。

(比較例3) 合成例1のビニル系重合体と参考合成例1のポリエーテル系重合体を混合する代わりに、参考合成例1のポリエーテル系重合体100重量部を用いた他は実施例1、2と同様にして、物性を測定した。結果を合わせて表1に示した。

(参考例1、2) 合成例1のビニル系重合体と参考合成例1のポリエーテル系重合体を混合する代わりに、合成例1のビニル系重合体および比較合成例1のビニル系重合体100重量部を用いた他は実施例1、2と同様にして、物性を測定した。結果を合わせて表1に示した。

【0056】

【表1】

	実施例1	実施例2	比較例1	比較例2	比較例3	参考例1	参考例2
合成例1の重合体	50	25				100	
比較合成例1の重合体			50	25			100
参考合成例1の重合体	50	75	50	75	100		
粘度(Pa・s)	26	15	40	22	6	44	74
M50(MPa)	0.24	0.26	0.20	0.24	0.29	0.18	0.10
Tb(MPa)	0.32	0.38	0.32	0.44	0.50	0.26	0.14
Eb(%)	77	94	94	119	119	84	69
ゲル分(%)	95	94	91	91	93	95	78
促進耐水性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	溶解	異常なし	異常なし

【0057】参考合成例1の重合体に合成例1の重合体をブレンドすることにより、耐水性が向上した。合成例1の重合体の方が数平均分子量が高くても比較合成例1の重合体よりも低粘度であり、混合液もまた合成例1の\*

\*重合体を用いた方が、比較合成例1の重合体を用いたものよりも低粘度であり、なおかつゲル分の高い硬化物が得られた。

フロントページの続き

(51)Int. Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

C 0 9 D 133/06

C 0 9 D 133/06

175/08

175/08

183/12

183/12

C 0 9 K 3/10

C 0 9 K 3/10

E

\* NOTICES \*

JPO and INPIT are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.\*\*\*\* shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

---

## DETAILED DESCRIPTION

---

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention]This invention relates to the hardenability constituent by which refining was carried out with the vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups. It is related with the hardenability constituent excellent in the high elongation after hardening, weatherability, etc. by blending crosslinkable silyl groups in more detail to the polyether system polymer which it has at least one piece.

[0002]

[Description of the Prior Art]The polyether system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups, For example, JP,45-36319,B, 46-12154, 46-30741, 49-32673, JP,50-156599,A, 51-73561, 54-6096, 55-13767, 55-13768, It is indicated by each gazette of 55-82123, 55-123620, 55-125121, 55-131021, 55-131022, 55-135135, 55-137129, JP,3-72527,A, and 3-97825.

If it is made to harden, the hardened material of high elongation is obtained and it is mainly used for the elastic sealing compound for construction, etc.

However, if an antiaging agent is not used, the hydrogen atom combined with the 3rd class carbon will oxidize easily, and these polyether, especially the polyether which uses polypropylene oxide as a main chain have the problem that weatherability worsens. Already in order to solve this problem this invention persons, In JP,2-42367,B and 2-44845, the hardenability constituent in which weatherability has been improved was proposed by blending the acrylic polymer which has at least one crosslinkable silyl groups in the polyether system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups. The sealing material composition by the blend of the acrylic polymer which has alkoxy silyl groups in molecule both ends, and the polyether polymer which has alkoxy silyl groups in molecule both ends is indicated by JP,4-69667,B.



[0003]

[Problem(s) to be Solved by the Invention]The vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups blended with the polyether system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups is manufactured using the radical polymerization initiator which usually has crosslinkable silyl groups, or a chain transfer agent. For this reason, it was difficult to introduce crosslinkable silyl groups into both ends by a high ratio, and a part for the gel of a hardened material had a problem which becomes low. On the other hand, in order to obtain a part for the gel of enough hardened materials, concomitant use of the monomer which has crosslinkable silyl groups was needed, but there was a problem that the high extension characteristic which the polyether system polymer originally has in this case will be spoiled. In this case, since especially the elongation at the time of a fracture becomes low, the use of this constituent is limited substantially. Therefore, in the use as a sealing material, some physical properties, such as a modulus rise, a fall of elongation, aggravation of a residual tack, and a fall for gel, were not acquired for a sacrifice fake colander for improvement in weatherability. Since the acrylic polymer used here (meta) was compounded by the free radical polymerization, molecular weight distribution is hyperviscosity widely and it also had the problem that a mixture with a polyether system polymer will also be hyperviscosity.

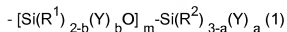
[0004]In this invention, by hypoviscosity, and by using the vinyl system polymer in which crosslinkable silyl groups was introduced by the high ratio, Let it be a technical problem to provide the hardenability constituent excellent in weatherability high [ for gel ], without spoiling the original high extensibility etc. of the polyether system polymer which has crosslinkable silyl groups.

[0005]

[Means for Solving the Problem]By using a hardenability constituent which uses as an essential ingredient a vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups, and a polyether system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups, it found out that an aforementioned problem was solved and this invention was reached.

[0006]

[Embodiment of the Invention]The vinyl system polymer of the (I) ingredient used in this invention has at least one crosslinkable silyl groups shown with a following general formula (1).



{Each of  $\text{R}^1$  and  $\text{R}^2$  among a formula The alkyl group of the carbon numbers 1-20, The aryl group of the carbon numbers 6-20, the aralkyl group of the carbon numbers 7-20, or  $(\text{R}')_3\text{SiO}$  - ( $\text{R}'$  is a univalent hydrocarbon group of the carbon numbers 1-20, and) three  $\text{R}'$  being the same and differing -- \*\*\*\* -- when the Tori ORGANO siloxy group shown is shown and  $\text{R}^1$  or

two or more  $R^2$  exist, they may be the same and may differ. When Y shows a hydroxyl group or a hydrolytic basis and two or more Y exists, they may be the same and may differ. a shows 0, 1, 2, or 3, and b shows 0, 1, or 2. m is an integer of 0-19. However, it shall satisfy that it is  $a+mb \geq 1$ . }

Especially as a hydrolytic basis shown by the above-mentioned Y, it is not limited, but can use a publicly known thing conventionally, and specifically, The point of hydrogen, a halogen atom, an alkoxy group, an acyloxy group, a KETOKISHI mate group, an amino group, an amide group, an aminoxy group, a sulfhydryl group, an alkenyloxy group, etc. being mentioned, and hydrolysis nature being mild and being easy to deal with it to especially an alkoxy group is preferred. This hydrolytic basis and a hydroxyl group can be combined with one silicon atom in the 1-3 ranges, and total of  $a+mb$ , i.e., a hydrolytic basis, has the preferred range of 1-5. When a hydrolytic basis and a hydroxyl group join together in [ two or more ] a cross-linking silicon group, they may be the same or may differ. The number of the silicon atoms which constitute a cross-linking silicon compound may be one, and although it may be two or more pieces, there may be a case of the silicon atom connected by the siloxane bond to about 20 pieces.

[0007]As a monomer which constitutes the main chain of the vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups of a general formula (1), there are no restrictions in particular and various kinds of things can be used. Especially as a vinyl system monomer used for manufacture of the main chain of the vinyl system polymer of this invention, it is not limited but various kinds of things can be used. If it illustrates, acrylic acid (meta), methyl acrylate (meta), (Meta) Ethyl acrylate, acrylic acid (meta)-n-propyl, acrylic acid (meta) isopropyl, (Meta) Acrylic acid-n-n-butyl, isobutyl acrylate (meta), (Meta) Acrylic acid-tert-butyl, acrylic acid (meta)-n-pentyl, (Meta) Acrylic acid-n-hexyl, acrylic acid (meta) cyclohexyl, (Meta) Acrylic acid-n-heptyl, acrylic acid (meta)-n-octyl, (Meta) Acrylic acid-2-ethylhexyl, acrylic acid (meta) nonyl, (Meta) Decyl acrylate, acrylic acid (meta) dodecyl, acrylic acid (meta) phenyl, (Meta) Acrylic acid toluyl, acrylic acid (meta) benzyl, acrylic acid (meta)-2-methoxy ethyl, (Meta) Acrylic acid-3-methoxy propyl, acrylic acid (meta)-2-hydroxyethyl, (Meta) Acrylic acid-2-hydroxypropyl, acrylic acid (meta) stearyl, metaglycidyl acrylate (meta), acrylic acid (meta) 2-aminoethyl, gamma-(methacryloyl oxypropyl) trimethoxysilane, the ethyleneoxide addition of acrylic acid (meta), (Meta) Acrylic acid trifluoromethyl methyl, an acrylic acid (meta) 2-trifluoro methylethyl, (Meta) Acrylic acid 2-perfluoro ethylethyl, acrylic acid (meta) 2-perfluoro ethyl-2-perfluoro butylethyl, (Meta) Acrylic acid 2-perfluoro ethyl, acrylic acid (meta) perfluoro methyl, (Meta) Acrylic acid JIPA fluoromethylmethyl, acrylic acid (meta) 2-perfluoro methyl-2-perfluoro ethylmethyl, (Meta) Acrylic acid 2-perfluoro hexylethyl, acrylic acid (meta) 2-perfluoro decylethyl, (Meta) Acrylic acid series (meta) monomers, such as acrylic acid 2-perfluoro hexadecylethyl; Styrene, Styrene system monomers, such as vinyltoluene, alpha-methylstyrene, KURORU styrene, styrene sulfonic acid, and its salt; Perfluoro ethylene,

Monoalkyl ester and dialkyl ester of silicon content vinyl system monomer; maleic anhydrides, such as fluoride content vinyl monomer; vinyltrimetoxysilane, such as perfluoro propylene and vinylidene fluoride, and vinyltriethoxysilane, maleic acid, and maleic acid; Fumaric acid, Monoalkyl ester and dialkyl ester of fumaric acid; Maleimide, Methylmaleimide, ethylmaleimide, propyl maleimide, butylmaleimide, Hexylmaleimide, octylmaleimide, dodecylmaleimide, stearyl maleimide, Maleimide system monomers, such as phenylmaleimide and cyclohexylmaleimide; Acrylonitrile, Nitrile group content vinyl system monomers, such as a methacrylonitrile; Acrylamide, Amide group content vinyl system monomers, such as methacrylamide; Vinyl acetate, Conjugated dienes, such as alkenes; butadiene, such as vinyl ester; ethylene, such as vinyl propionate, vinyl pivalate, benzoic acid vinyl, and vinyl cinnamic acid, and propylene, and isoprene; VCM/PVC, a vinylidene chloride, an allyl chloride, allyl alcohol, etc. are mentioned. These may be used independently, and even if it carries out copolymerization of the plurality, they are not cared about. Acrylic acid (meta) expresses acrylic acid and/or methacrylic acid with the above-mentioned expressive form.

[0008]The acrylic (meta) polymer obtained by compounding the crosslinkable silyl groups of a general formula (1) in the above-mentioned monomer with the vinyl system polymer which it has at least one piece, using an acrylic acid series (meta) monomer 40% of the weight or more is more preferred from a physical-properties side. Although there is no restriction in particular about the molecular weight of the vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups, it is preferred that it is in the range of 500-100000. The original characteristic of a vinyl system polymer is it hard to be revealed that a molecular weight is 500 or less, and handling becomes it difficult that it is 100000 or more.

[0009]There is no restriction in particular about the ratio ( $M_w/M_n$ ) of the weight average molecular weight ( $M_w$ ) and the number average molecular weight ( $M_n$ ) which measured crosslinkable silyl groups according to the molecular weight distribution of the vinyl system polymer which it has at least one piece, i.e., gel permeation chromatography. However, in order easily and to acquire hardened material physical properties sufficient moreover, the molecular weight distribution of narrow one is preferred. [ by stopping low the viscosity at the time of considering it as a hardenability constituent ] It is 1.3 or less still more preferably 1.4 or less still more preferably 1.5 or less still more preferably 1.6 or less still more preferably 1.7 or less more preferably [ as a value of molecular weight distribution, less than 1.8 are preferred, and ].

[0010]The vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups can be obtained by the various polymerizing methods, and the method in particular is not limited. By however, the point of the flexibility of a monomer, and the ease of control to a radical polymerization method. The vinyl system polymer which has a specific functional group which can introduce crosslinkable silyl groups directly or can be changed into crosslinkable silyl

groups at one step or several steps of reactions is obtained, The method of obtaining the vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups is more preferred by changing this specific functional group into crosslinkable silyl groups.

[0011]The radical polymerization method used in the method of compounding the vinyl system polymer which has a specific functional group containing crosslinkable silyl groups, It can classify into the "control radical polymerization method" which can introduce a specific functional group into "the general radical polymerization method" to which copolymerization of the monomer which has a specific functional group, and the vinyl system monomer is only carried out, and the position by which the end etc. were controlled using an azo compound, a peroxide, etc. as a polymerization initiator.

[0012]"A general radical polymerization method" is a simple method, and it is [ method ] usable also in this invention. However, since the monomer which has a specific functional group in this method is not introduced into a probable polymer, when it is going to obtain a polymer with a high rate of organic-functions-izing, It is necessary to use this monomer quite in large quantities, and there is a problem that the rate of a polymer that this specific functional group is not introduced becomes large, by use in small quantities conversely. Since it is a free radical polymerization, the problem that only a large polymer with high viscosity is obtained also has molecular weight distribution.

[0013]A "control radical polymerization method" further, By polymerizing using the chain transfer agent which has a specific functional group. It can classify into the "living-radical-polymerization method" the polymer of the molecular weight as a design is obtained mostly, by growing without the "chain transfer agent method" the vinyl system polymer which has a functional group at the end is obtained, and a polymerization growth end causing a termination reaction etc. Although the "chain transfer agent method" can obtain a polymer with a high rate of organic-functions-izing and it is usable also in this invention, the chain transfer agent which has quite a lot of specific functional groups to an initiator is required, and there is a problem on the financial side also including processing. Like the above-mentioned "general radical polymerization method", since it is a free radical polymerization, the problem that only the polymer whose viscosity it is large and is high is obtained also has molecular weight distribution.

[0014]Unlike these polymerizing methods, a "living-radical-polymerization method", Since a rate of polymerization is high, and the termination reaction by radical coupling etc. occurs easily, though it is a radical polymerization made difficult [ control ], While a termination reaction does not occur easily and the narrow polymer ( $M_w/M_n$  is 1.1 to about 1.5) of molecular weight distribution is obtained, a molecular weight is freely controllable by the preparation ratio of a monomer and an initiator.

[0015]Therefore, since the monomer which can obtain a polymer with molecular weight

distribution narrow [ a "living-radical-polymerization method" ] and low viscosity, and also has a specific functional group can be introduced into the almost arbitrary positions of a polymer, As a manufacturing method of the vinyl system polymer which has the above-mentioned specific functional group, it is more desirable. Although living polymerization means the polymerization in which an end always continues having activity and the chain grows in the narrow sense, the pseudo-living polymerization which grows while that by which the end was inactivated, and the activated thing are generally in an equilibrium situation is also included. The definition in this invention is also the latter.

[0016]As for the "living-radical-polymerization method", research is positively made into various groups in recent years. As the example, for example A journal OBU American chemical society (J. Am.Chem.Soc.), 1994, 116 volumes, the thing using a cobalt porphyrin complex as shown in 7943 pages, Macro leakage-at-bulb KYURUZU (Macromolecules), 1994, The thing using radical scavengers, such as a nitroxide compound as shown in 27 volumes and 7228 pages, The "atom transfer radical polymerization" (Atom Transfer Radical Polymerization:ATRP) etc. which uses an organic halogenated compound etc. as an initiator and makes a transition metal complex a catalyst is raised.

[0017]Also in a "living-radical-polymerization method", an organic halogenated compound or a sulfonyl halide compound An initiator, The "atom-transfer-radical-polymerization method" which polymerizes a vinyl system monomer by making a transition metal complex into a catalyst, As a manufacturing method of the vinyl system polymer which in addition to the feature of the above-mentioned "living-radical-polymerization method" has halogen comparatively advantageous to a functional group conversion reaction etc. at the end, and has a specific functional group from the flexibility of a design of an initiator or a catalyst being large, it is still more desirable. As this atom-transfer-radical-polymerization method, Matyjaszewski et al. [ for example, ], Journal OBU American chemical society (J. Am.Chem.Soc.) 1995, 117 volumes, 5614 pages, macro leakage-at-bulb KYURUZU (Macromolecules) 1995, 28 volumes, 7901 pages, science (Science) 1996, 272 volumes, 28 volumes, 1721 pages, etc. will be mentioned in 866 pages, WO 96/No. 30421 gazette, WO 97/No. 18247 gazette or Sawamoto et al., and macro leakage-at-bulb KYURUZU (Macromolecules) 1995.

[0018]The organic halogenated compound which has an organic halogenated compound, especially a reactant high carbon-halogen bond in this atom transfer radical polymerization. (For example, the carbonyl compound which has halogen in an alpha position and the compound which has halogen in a benzylic position), or a sulfonyl halide compound is used as an initiator. As a transition metal complex used as a catalyst of the above-mentioned atom transfer radical polymerization, the complex used as a central metal can use the 7th fellows of the periodic table, eight fellows, nine fellows, ten fellows, and 11 group elements. As a desirable thing, the complex of zerovalent copper, univalent copper, a divalent ruthenium,

divalent iron, or divalent nickel is mentioned. Especially, a copper complex is preferred. If a univalent copper compound is illustrated concretely, they will be a cuprous chloride, the first copper of bromination, a cuprous iodide, a cuprous cyanide, copper I oxide, the first copper of perchloric acid, etc. When using a copper compound, in order to improve catalytic activity 2,2'-bipyridyl and its derivative, Ligands, such as polyamine, such as a 1,10-phenanthroline and its derivative, tetramethylethylenediamine, pentamethyl diethylenetriamine, and hexamethyl tris(2-aminoethyl) amine, are added. The tris(triphenyl phosphine) complex ( $\text{RuCl}_2(\text{PPh}_3)_3$ ) of divalent ruthenium chloride is also preferred as a catalyst. When using a ruthenium compound as a catalyst, aluminum alkoxides are added as an activator. The screw triphenyl phosphine complex of divalent iron ( $\text{FeCl}_2(\text{PPh}_3)_2$ ), The screw triphenyl phosphine complex ( $\text{NiCl}_2(\text{PPh}_3)_2$ ) of divalent nickel and the screw tributyl phosphine complex ( $\text{NiBr}_2(\text{PBu}_3)_2$ ) of divalent nickel are also preferred as a catalyst.

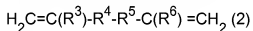
[0019]As a monomer of a vinyl system used in this polymerization, there are no restrictions in particular and all the already illustrated things can be used conveniently. The above-mentioned polymerization reaction can be performed in a non-solvent or various kinds of solvents. As a solvent, for example Hydrocarbon system solvent; diethylether, such as benzene and toluene, Ether system solvents, such as a tetrahydrofuran; Halogenated hydrocarbon system solvent; acetone, such as a methylene chloride and chloroform, Ketone solvent, such as methyl ethyl ketone and methyl isobutyl ketone; Methanol, Ethanol, propanol, isopropanol, n-butyl alcohol, Alcoholic solvent, such as tert-butyl alcohol; carbonate system solvents, such as ester solvent; ethylene carbonate, such as nitrile system solvent; ethyl acetate, such as acetonitrile, propionitrile, and benzonitrile, and butyl acetate, and propylene carbonate, etc. are mentioned. These can be independent, or can mix two or more sorts, and can be used. The above-mentioned polymerization can be performed in 0-200 \*\*, and it is the range of room temperature -150 \*\* preferably.

[0020]Although the vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups shown by a general formula (1) can be obtained using the method of illustrating below, it is not necessarily limited to these. As a synthesizing method of the vinyl system polymer which it has at least one piece, crosslinkable silyl groups, (A) The hydrosilane compound which has crosslinkable silyl groups in the vinyl system polymer which has at least one alkenyl group, By the method (C) radical polymerization which makes the compound which has in a monad a basis which can react to crosslinkable silyl groups and a hydroxyl group like an isocyanate group react to the vinyl system polymer which has at least one method (B) hydroxyl group made to add under hydrosilylation catalyst existence. When compounding a vinyl system polymer by the method (D) radical polymerization to which the compound it has a compound, and the alkenyl group and crosslinkable silyl groups of polymerization nature in one molecule

is made to react when compounding a vinyl system polymer, Method; etc. to which the compound which has stable carbanion with crosslinkable silyl groups in one molecule in the vinyl system polymer which has at least one high carbon-halogen bond of method (E) reactivity which uses the chain transfer agent which has crosslinkable silyl groups is made to react are raised.

[0021]The vinyl system polymer which has at least one alkenyl group used by the method of (A) is obtained by various methods. Although a synthesizing method is illustrated below, it is not necessarily limited to these.

(A-a) A method to which the compound it has a compound and an alkenyl group of polymerization nature and a low alkenyl group of polymerization nature in a monad which is mentioned, for example to the following general formula (2) when compounding a vinyl system polymer by a radical polymerization is made to react as the 2nd monomer.



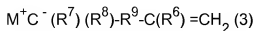
(Among the formula,  $\text{R}^3$  may show hydrogen or a methyl group, and  $\text{R}^4$  shows  $-\text{C}(\text{O})\text{O}-$  or  $\alpha-$ ,  $m-$ , and  $p$ -phenylene group,  $\text{R}^5$  may show the divalent organic group of direct coupling or the carbon numbers 1-20, and it may include one or more ether bonds.)  $\text{R}^6$  shows hydrogen or the alkyl group of the carbon numbers 1-10, the aryl group of the carbon numbers 6-10, or the aralkyl group of the carbon numbers 7-10

Although there is no restriction at the stage to which the compound it has a compound and an alkenyl group of polymerization nature and a low alkenyl group of polymerization nature in a monad is made to react, it is especially living radical polymerization, When it expects rubber character, it is preferred to make it react as the 2nd monomer after the telophase of a polymerization reaction or the ending reaction of a predetermined monomer.

[0022](A-b) When compounding a vinyl system polymer by living radical polymerization, A method to which the compound which has at least two low alkenyl groups of polymerization nature, such as 1,5-hexadiene, 1,7-octadiene, and 1,9-decadiene, for example is made to react after the telophase of a polymerization reaction, or the ending reaction of a predetermined monomer.

(A-c) How to make various kinds of organic metallic compounds which have an alkenyl group like organic tin, such as allyl tributyl tin and allyl trioctyl tin, for example react to the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond, and to replace halogen by it.

[0023](A-d) How to make the stabilization carbanion which has an alkenyl group which is mentioned to a general formula (3) react to the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond, and to replace halogen by it.

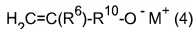


the inside of a formula, and  $R^6$  -- the above -- the same -- both  $R^7$  and  $R^8$  are electron withdrawing groups which stabilize carbanion  $C^-$ , or, in one side, another side shows hydrogen, the alkyl group of the carbon numbers 1-10, or a phenyl group by said electron withdrawing group.  $R^9$  may show the divalent organic group of direct coupling or the carbon numbers 1-10, and may include one or more ether bonds.  $M^+$  shows alkali metal ion or the 4th class ammonium ion.

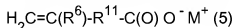
As an electron withdrawing group of  $R^7$  and  $R^8$ , especially the thing that has the structure of  $-CO_2R$ ,  $-C(O)R$ , and  $-CN$  is preferred.

[0024](A-e) To the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond. For example, make the metal simple substance or organic metallic compound like zinc act, and a eno rate anion is prepared, How to make after an appropriate time react to the electrophilicity compound which has alkenyl groups, such as an alkenyl group content compound which has a leaving group like halogen or an acetyl group, a carbonyl compound which has an alkenyl group, an isocyanate compound which has an alkenyl group, and acid halide which has an alkenyl group.

[0025](A-f) How to make the oxy anion or carboxylate anion which has an alkenyl group as shown, for example in the general formula (4) or (5) react to the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond, and to replace halogen by it.



( $R^6$  and  $M^+$  are the same as the above among a formula.)  $R^{10}$  may include one or more ether bonds by the divalent organic group of the carbon numbers 1-20.



( $R^6$  and  $M^+$  are the same as the above among a formula.) It is mentioned that  $R^{11}$  may include one or more ether bonds by the divalent organic group of direct coupling or the carbon numbers 1-20 etc.

[0026]The synthetic method of the vinyl system polymer which has at least one above-mentioned reactant high carbon-halogen bond as an example, (E-a) a carbon tetrachloride as shown in JP,4-132706,A in a radical polymerization, ethylene chloride, carbon tetrabromide, and a methylene bromide -- how (chain transfer agent method) to use a halogenide [ like ] for a chain transfer agent.

[0027](E-b) The above organic halogenated compounds etc. are used as an initiator, and although atom-transfer-radical-polymerization method; etc. which make a transition metal complex a catalyst are mentioned, it is not necessarily limited to these. Although the vinyl



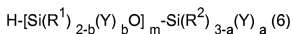
system polymer which has at least one alkenyl group is possible also for obtaining from the vinyl system polymer which has at least one hydroxyl group and can use the method of illustrating below, it is not necessarily limited to these. How to make a base like sodium methoxide (A-g) act on the hydroxyl group of the vinyl system polymer which has at least one hydroxyl group, and make it react to an alkenyl group content halogenide like an allyl chloride. [0028](A-h) A method to which alkenyl group content isocyanate compounds, such as an allylisocyanate, are made to react.

(A-i) A method (meta) to which alkenyl group content acid halide like acrylic acidchloride is made to react under base existence, such as pyridine.

(A-j) Method; etc. which make alkenyl group content carboxylic acid, such as acrylic acid, react under existence of an acid catalyst are mentioned.

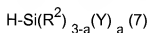
[0029]When halogen does not participate in the method of introducing an alkenyl group like this invention (A-a) (A-b) directly, it is preferred to compound a vinyl system polymer using a living-radical-polymerization method. The method of of the point that control is easier to (A-b) is still more preferred. When introducing an alkenyl group by changing halogen of the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond, The organic halogenated compound which has at least one reactant high carbon-halogen bond, Or it is preferred to use the vinyl system polymer which is obtained by using a sulfonyl halide compound as an initiator and carrying out the radical polymerization of the vinyl system monomer by making a transition metal complex into a catalyst (atom-transfer-radical-polymerization method) and which has at least one reactant high carbon-halogen bond at the end. The method of of the point that control is easier to (A-f) is still more preferred.

[0030]Although there is no restriction in particular as a hydrosilane compound which has crosslinkable silyl groups, if a typical thing is shown, the compound shown by a general formula (6) will be illustrated.



( $\text{R}^1$ ,  $\text{R}^2$ , a, b, m, and Y are the same as the above among a formula.)

Also in these hydrosilane compound, it is especially a general formula (7).



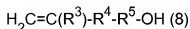
the compound which has a cross-linking group shown by (the inside of a formula,  $\text{R}^2$ , Y, and a are the same as the above) -- acquisition -- it is desirable from an easy point.

[0031]When making the hydrosilane compound which has the above-mentioned crosslinkable silyl groups add to an alkenyl group, a transition metal catalyst is usually used. The thing which, for example, made carriers, such as a platinum simple substance, alumina, silica, and carbon black, distribute a platinum solid as a transition metal catalyst, A complex with chloroplatinic acid, chloroplatinic acid, alcohol, aldehyde, ketone, etc., a platinum-olefin

complex, and a platinum (0)-divinyl tetramethyl disiloxane complex are mentioned. As an example of catalysts other than a platinum compound,  $\text{RhCl}(\text{PPh}_3)_3$ ,  $\text{RhCl}_3$ ,  $\text{RuCl}_3$ ,  $\text{IrCl}_3$ ,  $\text{FeCl}_3$ ,  $\text{AlCl}_3$ ,  $\text{PdCl}_2$  and  $\text{H}_2\text{O}$ ,  $\text{NiCl}_2$ ,  $\text{TiCl}_4$ , etc. are mentioned.

[0032](B) And the manufacturing method of the vinyl system polymer which has at least one hydroxyl group used by the method of (A-g) - (A-j) is not limited to these methods, although the following methods are illustrated.

(B-a) A method to which the compound it has a compound, and the alkenyl group and hydroxyl group of polymerization nature in a monad which is mentioned, for example to the following general formula (8) when compounding a vinyl system polymer by a radical polymerization is made to react as the 2nd monomer.



(The inside of a formula,  $\text{R}^3$ ,  $\text{R}^4$ , and  $\text{R}^5$  are the same as the above)

Although there is no restriction at the stage to which the compound it has a compound, and the alkenyl group and hydroxyl group of polymerization nature in a monad is made to react, it is especially living radical polymerization, and when it expects rubber character, it is preferred to make it react as the 2nd monomer after the telophase of a polymerization reaction or the ending reaction of a predetermined monomer.

[0033](B-b) A method to which 10-UNDESE Norian, 5-hexenol, and alkenyl alcohol like allyl alcohol are made to react after the telophase of a polymerization reaction, or the ending reaction of a predetermined monomer for example when compounding a vinyl system polymer by living radical polymerization.

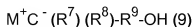
(B-c) For example, the method of carrying out the radical polymerization of the vinyl system monomer, using so much a hydroxyl group content chain transfer agent like the hydroxyl group content polysulfide shown in JP,5-262808,A.

(B-d) For example, the method of carrying out the radical polymerization of the vinyl system monomer using hydrogen peroxide or a hydroxyl group content initiator as shown in JP,6-239912,A and JP,8-283310,A.

(B-e) For example, the method of carrying out the radical polymerization of the vinyl system monomer, using alcohols as shown in JP,6-116312,A superfluously.

(B-f) For example, the method of introducing a hydroxyl group into an end by making halogen of the vinyl system polymer which has a reactant high carbon-halogen bond in at least one piece react to hydrolysis or hydroxyl group-containing compound by a method as shown in JP,4-132706,A etc.

(B-g) How to make the stabilization carbanion which has a hydroxyl group which is mentioned to a general formula (9) react to the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond, and to replace halogen by it.

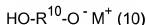


(the same as the inside of a formula,  $R^7$ ,  $R^8$ ,  $R^9$ , and \*\*\*\*\*)

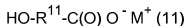
As an electron withdrawing group of  $R^7$  and  $R^8$ , especially the thing that has the structure of  $-CO_2R$ ,  $-C(O)R$ , and  $-CN$  is preferred.

[0034](B-h) How to, make the metal simple substance or organic metallic compound like zinc act on the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond for example, to prepare a eno rate anion, and to make aldehyde or ketone react to after an appropriate time.

(B-i) How to make the oxy anion or carboxylate anion which has a hydroxyl group as shown, for example in the general formula (10) or (11) react to the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond, and to replace halogen by it.



(The inside of a formula,  $R^{10}$ , and  $M^+$  are the same as the above)

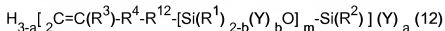


(The inside of a formula,  $R^{11}$ , and  $M^+$  are the same as the above) etc. -- it is mentioned.

[0035]When halogen does not participate in the method of introducing a hydroxyl group like (B-a) - (B-e) in this invention directly, it is preferred to compound a vinyl system polymer using a living-radical-polymerization method. The method of of the point that control is easier to (B-b) is still more preferred. When introducing a hydroxyl group by changing halogen of the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond, . Obtain by using an organic halogenated compound or a sulfonyl halide compound as an initiator, and carrying out the radical polymerization of the vinyl system monomer by making a transition metal complex into a catalyst (atom-transfer-radical-polymerization method). It is preferred to use for an end the vinyl system polymer which has at least one reactant high carbon-halogen bond. The method of of the point that control is easier to (B-i) is still more preferred.

[0036]As a compound which has in a monad a basis which can react to crosslinkable silyl groups and a hydroxyl group like an isocyanate group, For example, gamma-isocyanate propyltrimethoxysilane, gamma-isocyanate propylmethyl dimethoxysilane, gamma-isocyanate propyl triethoxysilane, etc. are mentioned, and the catalyst of a urethane-ized reaction generally known as occasion demands can be used.

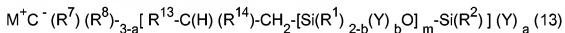
[0037]As a compound it has a compound, and the alkenyl group and crosslinkable silyl groups of polymerization nature in the monad used by the method of (C), For example, what is shown with following general formulas (12), such as trimethoxysilylpropyl (meta) acrylate and methyl dimethoxy silyl propyl (meta) acrylate, is mentioned.



( $R^1$ ,  $R^2$ ,  $R^3$ ,  $R^4$ , Y, a, b, and m are the same as the above among a formula.)  $R^{12}$  may include one or more ether bonds by the divalent organic group of direct coupling or the carbon numbers 1-20.

Especially although there is no restriction in particular at the stage to which the compound it has a compound, and the alkenyl group and crosslinkable silyl groups of polymerization nature in a monad is made to react, it is living radical polymerization, When it expects rubber character, it is preferred to make it react as the 2nd monomer after the telophase of a polymerization reaction or the ending reaction of a predetermined monomer. The hydrosilane etc. which have the mercaptan which has crosslinkable silyl groups and crosslinkable silyl groups which are used by the chain transfer agent method of (D), and which are shown in JP,3-14068,B and JP,4-55444,B as a chain transfer agent which has crosslinkable silyl groups are mentioned.

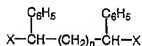
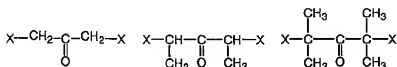
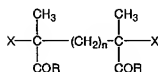
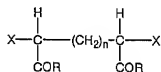
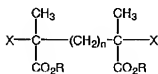
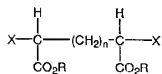
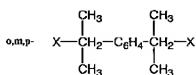
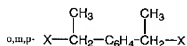
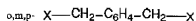
[0038]The vinyl system polymer which is used by the method of (E) and which has at least one reactant high carbon-halogen bond can be obtained by the method of (E-a) - (E-b) as above-mentioned. What is shown by a general formula (13) as a compound having crosslinkable silyl groups and stabilization carbanion is mentioned into a monad.



(It is the same as  $R^1$ ,  $R^2$ ,  $R^7$ ,  $R^8$ , Y, a, b, m, and \*\*\*\*\* among a formula.)  $R^{14}$  in which  $R^{13}$  may include one or more ether bonds by the divalent organic group of direct coupling or the carbon numbers 1-10 shows hydrogen or the alkyl group of the carbon numbers 1-10, the aryl group of the carbon numbers 6-10, or the aralkyl group of the carbon numbers 7-10.

As an electron withdrawing group of  $R^7$  and  $R^8$ , especially the thing that has the structure of  $-CO_2R$ ,  $-C(O)R$ , and  $-CN$  is preferred. The vinyl system polymer which crosslinkable silyl groups has at the end of an at least one-piece chain, In order to obtain an organic halogenated compound or a sulfonyl halide compound by the polymerizing method using an initiator and a transition metal complex as a catalyst, It is preferred to use as an initiator the organic halogenated compound which has two or more reactant high carbon-halogen bonds used as the starting point, or a sulfonyl halide compound. As those examples, [0039]

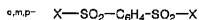
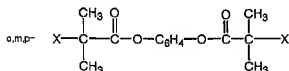
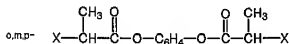
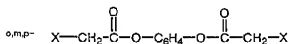
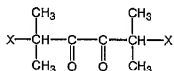
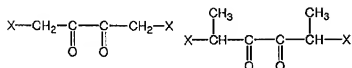
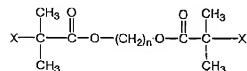
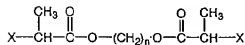
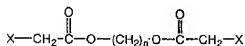
[Formula 1]



[0040](R expresses an alkyl group of the carbon numbers 1-20, the carbon number 6 - 20 aryl groups or the carbon number 7 - 20 aralkyl groups among a formula.) C<sub>6</sub>H<sub>4</sub> expresses a phenylene group. n expresses an integer of 0-20. X expresses chlorine, bromine, or iodine.

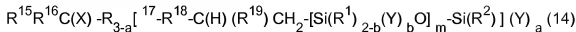
[0041]

[Formula 2]

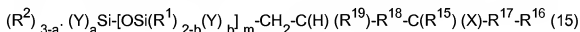


[0042](X express chlorine, bromine, or iodine among a formula.) n expresses the integer of 0-20. C<sub>6</sub>H<sub>4</sub> expresses a phenylene group. etc. -- it is raised. Besides the above, the vinyl system polymer which has crosslinkable silyl groups at the end of an at least one-piece chain can be obtained. If the organic halogenated compound which has crosslinkable silyl groups is used as an initiator, the vinyl system polymer which has crosslinkable silyl groups at the piece end and in which other ends have the structure of the general formula 2 will be obtained. Thus, if halogen of the stop end of the polymer obtained is changed into a crosslinkable-silyl-groups content substituent, the vinyl system polymer which has crosslinkable silyl groups in both ends can be obtained. The already indicated method can be used as the converting method. [0043]Although there is no restriction in particular as an organic halogenated compound which has crosslinkable silyl groups, what has the structure shown, for example in the general

formula (14) and (15) is illustrated.



( $R^1$ ,  $R^2$ ,  $a$ ,  $b$ ,  $m$ ,  $X$ , and  $Y$  are the same as the above among a formula.) Independently  $R^{15}$  and  $R^{16}$  Hydrogen or an alkyl group of the carbon numbers 1-20, An aryl group of the carbon numbers 6-20, an aralkyl group of the carbon numbers 7-20 or a thing mutually connected in the other end, and  $R^{17}$  show -C(O)O-, -C(O)- or *o*-, *m*-, and *p*-phenylene group.  $R^{19}$  in which  $R^{18}$  may include one or more ether bonds by a divalent organic group of direct coupling or the carbon numbers 1-10 shows hydrogen or an alkyl group of the carbon numbers 1-10, an aryl group of the carbon numbers 6-10, or an aralkyl group of the carbon numbers 7-10.



(The inside of a formula,  $R^1$ ,  $R^2$ ,  $R^{15}$ ,  $R^{16}$ ,  $R^{17}$ ,  $R^{18}$ ,  $R^{19}$ ,  $a$ ,  $b$ ,  $m$ ,  $X$ , and  $Y$  are the same as the above)

If an organic halogenated compound which has crosslinkable silyl groups is used as an initiator, a polymer whose piece end is crosslinkable silyl groups and in which other ends are halogen will be obtained, but. A vinyl system polymer which has crosslinkable silyl groups in both ends can be obtained also by carrying out coupling of the halogen ends using a compound which can replace halogen of this polymer and which has a total of two or more same or different functional groups.

[0044]Although there is no restriction in particular as a compound which can replace end halogen and which has a total of two or more same or different functional groups, polyol, polyamine, polycarboxylic acid, polythiol and those salts, an alkaline metal sulfide, etc. are preferred. If an organic halogenated compound which has an alkenyl group is used for an initiator, it will have an alkenyl group at the piece end, and a polymer in which other ends are halogen will be obtained. Thus, if halogen of an end of a polymer obtained is changed into an alkenyl content substituent, If a vinyl system polymer which has an alkenyl group in both ends can be obtained and this alkenyl group is changed into crosslinkable silyl groups by an above-mentioned method etc., a vinyl system polymer which has crosslinkable silyl groups in both ends can be obtained.

[0045]In a use as which rubber character is required, since a molecular weight between the points constructing a bridge which has big influence on rubber elasticity can take greatly, as for at least one of crosslinkable silyl groups, it is preferred that it is in an end of a chain, and it is still more preferred that it is in molecular chain terminals altogether. Therefore, as for a vinyl system polymer which is used when compounding a vinyl system polymer which at least one crosslinkable silyl groups has and which has a hydroxyl group, halogen, or at least one alkenyl group, it is preferred that these functional groups are what exists in an end of a chain.

[0046]Although a vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups, and a method of manufacturing an acrylic polymer especially (meta) are indicated by JP,3-14068,B, JP,4-55444,B, JP,6-211922,A, etc., for example, Since these methods use a "chain transfer agent method", such crosslinkable silyl groups exists in an end at a comparatively high rate, but there is a problem that molecular weight distribution of a polymer obtained is generally as large as two or more, and viscosity becomes high. Therefore, it is preferred to use a living-radical-polymerization method for obtaining a vinyl system polymer with low viscosity with narrow molecular weight distribution which has crosslinkable silyl groups at the end at a high rate. A polyether system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups which is a (II) ingredient in this invention may include a urethane bond in a main chain, and does not need to include it. As for polyether of a main chain, it is preferred that it is polypropylene oxide intrinsically. Since it will be dealt with and a sex will become good if it is hypoviscosity more, 1.5 or less thing has more preferred molecular weight distribution ( $M_w/M_n$ ) of a polypropylene oxide system polymer. Crosslinkable silyl groups may be the same as that of a vinyl system polymer of a (I) ingredient, and may differ. (I) Although the mixture ratio of a vinyl system polymer of an ingredient and a polyether system polymer of a (II) ingredient has the preferred range of 100 / 1 - 1/100 at a weight ratio, it is still more preferred that it is in the range of 100 / 5 - 5/100.

[0047]As for a hardenability constituent of this invention, since hypoviscosity-izing is also possible, having sufficient physical properties, using as a sealing material and a binder is more preferred. Even if it uses a condensation catalyst in stiffening a vinyl system polymer or a polyether system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups of this invention, it is not necessary to carry out. As a condensation catalyst, titanate; dibutyltin dilaurate, such as tetrabutyl titanate and tetrapropyl titanate, Dibutyl tin diacetyl acetonato, dibutyltin maleate, dibutyltin diacetate, Dibutyl tin dimethoxide, dibutyltin oxide, carboxylate, carboxylic acid, or a reactant of hydroxyl group-containing compound, Organic tin compounds, such as tin octylate and naphthenic acid tin; Aluminum tris acetylacetonato, Organoaluminium compounds, such as aluminumtrisethylacetoacetate and diisopropoxy aluminum ethylacetoacetate; Zirconium tetra acetylacetonato zirconium TETORAISOPUROKISAIDO, Organic zirconium compounds, such as zirconium tetra butoxide; Organic-lead-compounds [, such as lead octylate, ], A butylamine, octyl amine, dibutyl amine, monoethanolamine, Diethanolamine, triethanolamine, diethylenetriamine, triethylenetetramine, oleylamine, octyl amine, cyclohexylamine, benzylamine, diethylamino propylamine, xylylene diamine, triethylenediamine, guanidine, Diphenylguanidine, 2,4,6-tris(dimethyl aminomethyl) phenol, Morpholine, N-methylmorpholine, 1, 3-diazabicyclo. (5, 4, 6) An amine compound of undecene 7 grade. Or those carboxylate, a reactant of lauryl amine and tin octylate or a reactant of an amine compound and an organic tin compound like a mixture, and mixture; -- low-molecular-



weight-polyamide resin; obtained from superfluous polyamine and polybasic acid -- superfluous polyamine and a resultant; amino group of an epoxy compound. What is necessary is just to use one sort of silanol catalysts, or two sorts or more with publicly known a silane coupling agent which it has, for example, gamma-aminopropyl trimethoxysilane, N-(beta-aminoethyl) aminopropyl methyl dimethoxysilane, etc. if needed. As for the amount used, it is preferred to carry out 0-10 weight-section use to total amount 100 weight section of a polymer which has at least one crosslinkable silyl groups. When an alkoxy group is used as the hydrolytic basis Y, it is preferred to use a curing catalyst only with this polymer, since the cure rate is slow.

[0048]A filler can be added for the purpose of adjustment of the mechanical physical property of a hardenability constituent of this invention. Specifically Fumed silica, sedimentation nature silica, a silicic acid anhydride, hydrous silicic acids, and reinforcing filler; calcium carbonate like carbon black, Fillers, such as magnesium carbonate, diatomite, calcination clay, clay, talc, titanium oxide, bentonite, organic bentonite, ferric oxide, a zinc oxide, an active white, and a milt balloon; asbestos, glass fiber, and a fibrous filler like a filament can be used. To obtain a hardened material with high intensity with these fillers. Mainly Fumed silica, sedimentation nature silica, a silicic acid anhydride, hydrous silicic acids, carbon black, A desirable result will be obtained if a filler chosen from surface treatment detailed calcium carbonate, calcination clay, clay, an active white, etc. is added in the range of one to 200 weight section to total amount 100 weight section of a polymer which has at least one crosslinkable silyl groups. When elongation wants to obtain a hardened material which is size with low strength, A desirable result will be obtained if a filler mainly chosen from titanium oxide, calcium carbonate, talc, ferric oxide, a zinc oxide, a milt balloon, etc. is added in the range of one to 200 weight section to total amount 100 weight section of a polymer which has at least one crosslinkable silyl groups. These fillers may be used by one kind and may carry out two or more kind mixing use.

[0049]A plasticizer can be added for adjustment of physical properties and viscosity. Specifically Dibutyl phthalate, diheptylphthalate, di(2-ethylhexyl) phthalate, Phthalic ester, such as di-isodecyl phthalate and butylbenzyl phthalate; Dioctyl adipate, Non-aromatic dibasic acid esters, such as dioctyl sebacate; Diethylene glycol dibenzoate, Ester species of polyalkylene glycols, such as TORIECHIRENGURIKORUJIBENZOETO; Tricresyl phosphate, Phosphoric ester, such as tributyl phosphate; Poly ERIREN glycol, polyether; which changed polypropylene glycols or these hydroxyl groups -- chloroparaffin; -- hydrocarbon system oils, such as alkyl diphenyl and partially-hydrogenated terphenyl, etc. are mentioned -- these -- independence -- or, although two or more sorts can use it, mixing, It does not necessarily need. These plasticizers can also be blended at the time of polymer manufacture. An adhesion promoter with which a desirable result will be obtained if the amount of plasticizers is added in

the range of zero to 100 weight section to total amount 100 weight section of a polymer which has at least one crosslinkable silyl groups, The polymer by this invention itself has an adhesive property to ceramics other than glass and glass, metal, etc., or, Since it is possible to make it paste up to a wide range material by using various primers, it is not necessarily required, but it is preferred to use in order to acquire a stable adhesive property over various adherends.

[0050]As an adhesion promoter, phenol, cresol, a xylenol, resorcinol, alkylphenol and denaturation phenol (for example, cashew oil denaturation phenol.) tall oil denaturation phenol etc. -- etc. -- a phenol system compound and formalin. A resol type obtained by a reaction with aldehyde system compounds, such as paraformaldehyde, or novolak type phenol resin; sulfur; A bisphenol A type epoxy resin, Bisphenol F type epoxy resin, novolak type epoxy resin, a glycidyl ether type epoxy resin of a bisphenol A propylene oxide addition, Epoxy resins, such as a hydrogenation bisphenol A type epoxy resin; Alkyl titanate, such as tetrabutyl titanate. Aromatic polyisocyanate; gamma-aminopropyl trimethoxysilane, such as tolylene diisocyanate and diphenylmethane diisocyanate, gamma-aminopropyl triethoxysilane, gamma-aminopropyl methyl dimethoxysilane, N-(beta-aminoethyl)-gamma-aminopropyl trimethoxysilane, N-(beta-aminoethyl)-gamma-aminopropyl triethoxysilane, A compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an amino group into monads, such as N-(beta-aminoethyl)-gamma-aminopropyl methyl dimethoxysilane; Gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane, Compound; gamma-mercapto propyltrimethoxysilane which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an epoxy group into monads, such as gamma-glycidoxy propyltriethoxysilane and gamma-glycidoxy propyl methyl dimethoxysilane, Compound; gamma-isocyanate propyltrimethoxysilane which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to a sulfhydryl group into monads, such as gamma-mercaptopropyl triethoxysilane and gamma-mercaptopropylmethyl dimethoxysilane, gamma-isocyanate propyl triethoxysilane, A compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an isocyanate group into monads, such as gamma-isocyanate propylmethyl dimethoxysilane; A compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an amino group into the above monads, and a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an epoxy group into a monad. Or a reactant of a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an isocyanate group into a monad; gamma-(meta) acryloxypropyltrimethoxysilane, gamma-(meta) acryloxypropyltriethoxysilane, Reactant [ of a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an acryloxy (meta) group, and a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an amino group into the above monads ]; etc. are mentioned into monads, such as gamma-(meta)acryloxypropylmethyl dimethoxysilane. These may be used alone or may be used together two or more kinds. A compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an amino group especially into physical properties and a monad in which adhesive control is comparatively easy, A compound which carries out a

crosslinkable-silyl-groups owner to an epoxy group into a monad, a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to a sulfhydryl group into a monad, A reactant of a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an amino group into a monad, and a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an epoxy group into a monad, A compound which has an organic group which has at least one of nitrogen, oxygen, and sulfur atoms, and crosslinkable silyl groups in monads, such as a reactant etc. of a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an acryloxy (meta) group into a monad, and a compound which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner to an amino group into a monad, is preferred. A compound in which the above-mentioned nitrogen, oxygen, and an organic group that has at least one of sulfur atoms have an organic group which is a basis generated when an amino group, an isocyanate group, or these react, and which has a nitrogen atom in a monad, and crosslinkable silyl groups from adhesive height is still more preferred.

[0051]As for the above-mentioned adhesion promoter, it is preferred that 20 weight sections are used from 0.01 to total amount 100 weight section of a polymer which has at least one crosslinkable silyl groups. In 0.01 weight sections, it is hard to reveal an adhesive improvement effect, and has an adverse effect on the physical properties of 20 weight-section \*\*\*\*\* hardened material. An addition of an adhesion promoter is 0.5 to 5 weight section still more preferably 0.1 to 10 weight section preferably.

[0052]In order to raise hardness when stiffening a hardenability constituent, or to lower hardness, to take out elongation and to control physical properties, a physical-properties regulator can be used. As a physical-properties regulator, for example, methyl trimetoxysilane, dimethyldimethoxysilane, Alkyl alkoxysilane, such as trimethylmethoxysilane and n-propyltrimethoxysilane; Dimethyl JIISO propenoxysilane, Alkyl iso propenoxysilane, such as methyl TORIISO propenoxysilane and gamma-glycidoxo propylmethyl JIISO propenoxysilane; Vinyltrimetoxysilane, Various silane coupling agents, such as vinylmethyldimethoxysilane, and silicone varnishes; polysiloxanes are added if needed. Total amount 100 weight section [ for ] of a polymer which has at least one crosslinkable silyl groups, if it adds in the range of zero to 20 weight section, a desirable result will be obtained.

[0053]In order to speed up or delay a cure rate of a hardenability constituent and to suppress thickening under storage for a hardenability regulator again, a storage stability improving agent can be added. As a hardenability regulator or a storage stability improving agent, Ortho ester, such as alcohols; methyl orthoformate, such as methanol and ethanol; carboxylic acid, such as compound; 2-ethylhexanoic acid which carries out a crosslinkable-silyl-groups owner, such as a tetraethoxysilane, methyl trimetoxysilane, and vinyltrimetoxysilane, is mentioned. Total amount 100 weight section [ for ] of a polymer which has at least one crosslinkable silyl groups, if it adds in the range of zero to 20 weight section, a desirable result will be obtained.

[0054] In addition to this, a hardenability constituent of this invention Various solvent; several kinds silane coupling agents, such as toluene and methyl ethyl ketone, Various denaturing agents, such as a polysiloxane which has crosslinkable silyl groups; A polyamide wax, Colorant, such as the surface characteristic of rheology characteristic regulator; ultraviolet curing nature resin, such as hydrogenation castor oil and metallic soap, oxygen hardening resin, etc. and/or weatherproof improving agent; paints, and a color; additive agents, such as an antiaging agent, an ultraviolet ray absorbent, a Sadamu Mitsuyasu-ized agent, and a flameproofing agent, may also be used arbitrarily.

[0055] A hardenability constituent of this invention carries out combination seal preservation of all the combination ingredients beforehand, It is also possible to prepare as one component type hardened by absorbing hygroscopic surface moisture in the after-construction air, ingredients, such as a curing catalyst, a filler, a plasticizer, and water, are separately blended as a hardening agent, and it can also adjust as two component types mixed before using this compounding agent and a polymer composition. Handling is easy and one component type also with few mistakes at the time of construction is more preferred. Although this invention is explained based on an example below, it is not limited to the following example.

(Synthetic example 1)

In poly (acrylic acid-n-butyl) 50 ml of composition flask which has halogen at the end, the first copper 0.63g (4.4mmol) of bromination, 0.76 g (4.4mmol) of pentamethyl diethylenetriamine, After teaching 5 ml of acetonitrile, 1.6 g (4.4mmol) of 2,5-dibromo diethyl adipate, and 44.7 g (349mmol) of butyl acrylate and performing freezing deaeration, 70 °C was made to react under a nitrogen atmosphere for 7 hours. A polymer which has Br basis at the end was obtained by carrying out removal refining of the copper catalyst through a column of activated alumina. Number average molecular weights of an obtained polymer were 10700 and molecular weight distribution 1.15 in GPC measurement (mobile phase chloroform, polystyrene conversion). Under a poly (acrylic acid-n-butyl) synthetic nitrogen atmosphere which has an alkenyl group at the end, 35 g of poly (acrylic acid-n-butyl) which has halogen, the pentene acid potassium 2.2g (16.1mmol), and DMAc 35mL were taught to an end obtained above, and it was made to react to a 200-ml flask at 70 °C for 4 hours. Water extraction refining removed unreacted pentene acid potassium and generated potassium bromide in reaction mixed liquor, and a polymer which has an alkenyl group at the end was obtained. Number average molecular weights of an obtained polymer were 11300 and molecular weight distribution 1.12 in GPC measurement (mobile phase chloroform, polystyrene conversion). The number of an alkenyl group per one molecule of polymers for which it asked from <sup>1</sup>H-NMR analysis was 1.82 pieces. The polymer 15g which has an alkenyl group at the end obtained above to a poly (acrylic acid-n-butyl) synthetic 200mL resisting pressure coil which has crosslinkable silyl groups at the end, Taught methyl dimethoxysilane 1.8mL (14.5mmol) methyl orthoformate 0.26mL (2.4mmol) and

platinum bis(divinyl tetramethyl disiloxane) $10^{-4}$  mmol, it was made to react at 100 °C for 4 hours, and a polymer which has crosslinkable silyl groups at the end was obtained. Viscosity of an obtained polymer was 44 Pa·s, and number average molecular weights were 11900 and molecular weight distribution 1.12 in GPC measurement (mobile phase chloroform, polystyrene conversion). The number of a cross-linking silicon group per one molecule of polymers was 1.46 pieces by  $^1\text{H-NMR}$  analysis.

(Example 1 of comparison composition)

400 g of poly (acrylic acid-n-butyl) synthetic toluene which has the crosslinkable silyl groups using a cross-linking silicon group content monomer, It polymerized at 105 °C for 7 hours, carrying out nitrogen bubbling of 385 g of butyl acrylate, 15 g of methyl methacrylate dimethoxy silyl propyl, and 6 g of the azobisisobutyronitrile in 1L flask. Poly (acrylic acid-n-butyl) which has crosslinkable silyl groups was obtained by distilling off toluene. Viscosity of this polymer was 74 Pa·s, by GPC measurement (mobile phase chloroform, polystyrene conversion), a number average molecular weight was 8500 and molecular weight distribution was 2.47. The number of a hydroxyl group of an average per one molecule of polymers for which it asked from  $^1\text{H-NMR}$  analysis was 1.40 pieces.

(Example 1 of reference composition)

The hexacyanocobalt acid zinc-glyme complex 0.04g, a THF solution of 2.0 g of dipropylene glycol, and 9.6 g of propylene oxide were added to synthetic autoclave of hydroxyl group end polypropylene oxide, and it was made to react to it at 76 °C under a nitrogen atmosphere. 145.2 g of propylene oxide was added to the system of reaction after that. An unreacted monomer and a solvent were collected and refined and 150 g of oily matters were obtained. Output showed a single peak by GPC analysis, and molecular weight distribution ( $M_w/M_n$ ) was 1.14. The hydroxyl value was 11.8 mgKOH/g. Decompression devolatilization was carried out, after adding 5.8 g (30.2mmol) of methanol solution (28wt%) of sodium methoxide to 120 g of hydroxyl group end polypropylene oxide obtained by the synthetic above of unsaturation group end polypropylene oxide and making it react at 130 °C in autoclave for 1 hour. It returned under a nitrogen atmosphere, the allyl chloride 2.8g (36.2mmol) was added, and it was made to react for 2 hours. This reaction mixture was dissolved in hexane, and after carrying out adsorption treatment with aluminum silicate, unsaturation group end polypropylene oxide was obtained by carrying out decompression distilling off of the hexane. 120 g of unsaturation group end polypropylene oxide obtained by composition of the synthetic above of crosslinkable-silyl-groups end polypropylene oxide is taught to resisting pressure glass reaction vessels,It stirred for 30 minutes after adding 0.02 g of isopropanol solutions (what dissolved  $\text{H}_2\text{S-g}_2\text{PtCl}_6$  and  $6\text{H}_2\text{O}$  in 500 g of isopropanol) of chloroplatinic acid. 2.1 g (20.2mmol) of methyl dimethoxysilane was dropped, and it was made to react at 90 °C for 2 hours. By

decompressing, volatile matter content was removed and crosslinkable-silyl-groups end polypropylene oxide was obtained. Viscosity of this polymer was 6 Pa-s, by GPC measurement (mobile phase chloroform, polystyrene conversion), a number average molecular weight was 17300 and molecular weight distribution was 1.14.

(Examples 1 and 2) A vinyl system polymer which has the crosslinkable silyl groups of the synthetic example 1, and a polyether system polymer which has the crosslinkable silyl groups of the example 1 of reference composition were mixed at a rate shown in Table 1, and viscosity was measured. To this mixture 100 weight section, stirring mixing of water 1 weight section and the dibutyltin JIMETOKI side 1 weight section was carried out, and it slushed into a 2-mm-thick piece frame. It defoamed at a room temperature using a vacuum drier, and a sheet of a rubber-like hardened material was obtained by making it harden for three days at 50 °C. It asked for a gel fraction by toluene extraction. 2 (1/3) item type dumbbell specimen was pierced from a rubber-like hardened material sheet, and it examined by having pulled using an autograph, and was extended at the time of intensity (Tb) and a fracture at the time of stress (M50) and a fracture at the time of 50% extension, and (Eb) was measured (200 mm/min). A wafer was clipped from a rubber-like hardened material sheet, and it put into a sunshine weatherometer. A state after 60-hour progress was observed (accelerated weathering resistance). A result was shown in Table 1.

(Comparative examples 1 and 2) Instead of a polymer obtained in the synthetic example 1, a polymer obtained in the example 1 of comparison composition was used, and also physical properties were measured like Examples 1 and 2. A result was doubled and it was shown in Table 1.

(Comparative example 3) Instead of mixing a vinyl system polymer of the synthetic example 1, and a polyether system polymer of the example 1 of reference composition, polyether system polymer 100 weight section of the example 1 of reference composition was used, and also physical properties were measured like Examples 1 and 2. A result was doubled and it was shown in Table 1.

(Reference examples 1 and 2) Instead of mixing a vinyl system polymer of the synthetic example 1, and a polyether system polymer of the example 1 of reference composition, vinyl system polymer [ of the synthetic example 1 ] and vinyl system polymer of example 1 of comparison composition 100 weight section was used, and also physical properties were measured like Examples 1 and 2. A result was doubled and it was shown in Table 1.

[0056]

[Table 1]

	実施例 1	実施例 2	比較例 1	比較例 2	比較例 3	参考例 1	参考例 2
合成例 1 の重合体	50	25				100	
比較合成例 1 の重合体			50	25			100
参考合成例 1 の重合体	50	75	50	75	100		
粘度 (Pa・s)	26	15	40	22	6	44	74
M50 (MPa)	0. 24	0. 26	0. 20	0. 24	0. 29	0. 18	0. 10
Tb (MPa)	0. 32	0. 38	0. 32	0. 44	0. 50	0. 26	0. 14
Eb (%)	77	94	94	119	119	84	69
ゲル分 (%)	95	94	91	91	93	95	78
促進耐水性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	溶解	異常なし	異常なし

[0057] Weatherability improved by blending a polymer of the synthetic example 1 to a polymer of the example 1 of reference composition. Even if the polymer of the synthetic example 1 was [ a number average molecular weight ] more expensive, a hardened material are hypoviscosity, and a direction where mixed liquor also used a polymer of the synthetic example 1 is hypoviscosity from a thing using a polymer of the example 1 of comparison composition, and higher moreover than a polymer of the example 1 of comparison composition for gel was obtained.

---

[Translation done.]

## \* NOTICES \*

JPO and INPIT are not responsible for any  
damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.\*\*\*\* shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

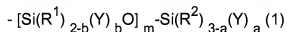
---

**CLAIMS**


---

[Claim(s)]

[Claim 1]The following two ingredients: A hardenability constituent which uses as an essential ingredient a vinyl system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups shown by (I) general formula (1), and a polyether system polymer which has at least one crosslinkable silyl groups shown by (II) general formula (1).



{Each of  $\text{R}^1$  and  $\text{R}^2$  among a formula An alkyl group of the carbon numbers 1-20, An aryl group of the carbon numbers 6-20, an aralkyl group of the carbon numbers 7-20, or  $(\text{R}')_3\text{SiO}$  - ( $\text{R}'$  is a univalent hydrocarbon group of the carbon numbers 1-20, and) three  $\text{R}'$  being the same and differing -- \*\*\*\* -- when the Tori ORGANO siloxy group shown is shown and  $\text{R}^1$  or two or more  $\text{R}^2$  exist, they may be the same and may differ. When Y shows a hydroxyl group or a hydrolytic basis and two or more Y exists, they may be the same and may differ. a shows 0, 1, 2, or 3, and b shows 0, 1, or 2. m is an integer of 0-19. However, it shall satisfy that it is  $a+mb \geq 1$ . }

[Claim 2](I) The hardenability constituent according to claim 1 whose ratio of weight average molecular weight and a number average molecular weight which were measured with gel permeation chromatography of a vinyl system polymer of an ingredient is less than 1.8.

[Claim 3](I) A vinyl system polymer of an ingredient is a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-2 which are acrylic (meta) polymers.

[Claim 4](I) It is a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-3, wherein a manufacturing method of a vinyl system polymer of an ingredient is a living-radical-polymerization method.

[Claim 5](I) It is a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-4, wherein a manufacturing method of a vinyl system polymer of an ingredient is the atomic move



RAJIRARU polymerizing method.

[Claim 6](I) It is a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-5 which have the crosslinkable silyl groups shown by a general formula (1) of an ingredient in at least one molecular chain terminals.

[Claim 7](I) A process:(1) organic halogenated compound of the following [ polymer / which has at least one crosslinkable silyl groups shown by a general formula (1) of an ingredient / vinyl system ], Or a vinyl system polymer which has halogen at the end by using a sulfonyl halide compound as an initiator and carrying out the radical polymerization of the vinyl system monomer by making a transition metal complex into a catalyst is manufactured, (2) By making a oxy anion which has an alkenyl group react, and replacing halogen, It is a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-6 which are the polymers obtained by; to which a hydrosilane compound which has the crosslinkable silyl groups which manufactures a vinyl system polymer which has an alkenyl group at the end, and is shown by (3) general formulas (1) is made to react.

[Claim 8](I) By polymerizing by a living-radical-polymerization method, a vinyl system polymer which has the crosslinkable silyl groups shown by a general formula (1) of an ingredient the following process:(1) vinyl system monomers, Manufacture a vinyl system polymer and a vinyl system polymer which has an alkenyl group at the end by making a compound which (2) Continues and has at least two low alkenyl groups of polymerization nature react is manufactured, It is a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-6 which are the polymers obtained by; changed into a silyl group content substituent by making a hydrosilane compound which has the crosslinkable silyl groups which shows an end alkenyl group by the general formula 1 react.

[Claim 9](II) A polyether system polymer of an ingredient is a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-8 which are polypropylene oxide intrinsically.

[Claim 10]A sealing material using a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-9.

[Claim 11]A binder using a hardenability constituent given in any 1 paragraph among claims 1-10.

---

[Translation done.]